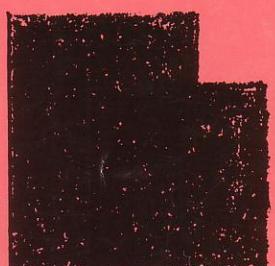
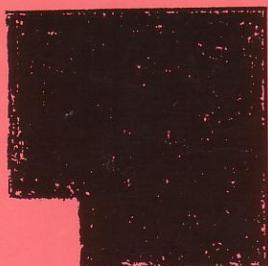
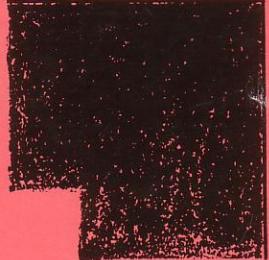
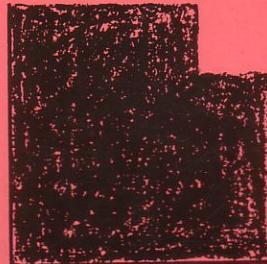
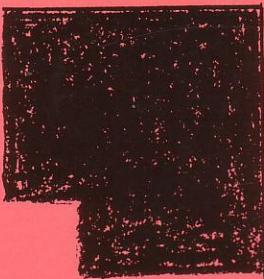


# 連文高等

第3号



山口県高等学校文化連盟

高文連

第 3 号

# もくじ

あいさつ .....	1
山口県高等学校文化連盟各部門の報告 .....	2
第13回山口県高等学校文化祭の記録 .....	14
総合開会式 .....	15
(音楽関係4部門) .....	18
音楽・管弦楽部門 .....	18
合唱部門 .....	19
吹奏楽部門 .....	19
マーチングバンド・パントワーリング部門 .....	21
(日本音楽・吟詠剣詩舞部門) .....	23
日本音楽部門 .....	23
吟詠剣詩舞部門 .....	24
(囲碁部門) .....	24
(展示関係部門) .....	25
美術・工芸部門 .....	28
写真部門 .....	29
(演劇部門) .....	30
第15回全国高等学校総合文化祭の記録 .....	31
器楽・管弦楽部門 .....	34
合唱部門 .....	35
吹奏楽部門 .....	37
マーチングバンド・パントワーリング部門 .....	38
日本音楽部門 .....	40
吟詠剣詩舞部門 .....	41
美術・工芸部門 .....	42
写真部門 .....	43
書道部門 .....	44
山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧・事業報告 .....	46
平成3年度全日本吹奏楽コンクールの報告 .....	50

## 参考資料

第6回全国高等学校文芸コンクール都道府県別応募状況一覧 .....	52
(部門別応募状況、入賞作品数一覧、山口県授賞作品一覧) .....	53
平成3年度山口県高等学校文化連盟〈事業報告〉 .....	54
平成4年度山口県高等学校文化連盟〈事業計画〉 .....	55
全国高等学校文化連盟基本調査 .....	56
全国高文連専門部の各都道府県所属一覧 .....	60
第16回全国高等学校総合文化祭開催要綱 .....	61
平成3年度山口県高等学校文化連盟会計決算書 .....	62
平成4年度山口県高等学校文化連盟会計予算書 .....	63
山口県高等学校文化連盟規約 .....	64
平成3・4年度山口県高等学校文化連盟役員一覧 .....	66
全国高文連の歌 .....	68
編集後記 .....	69

# ごあいさつ



山口県高等学校文化連盟

会長 繁富健治

『ひびけ青春のこえ かがやけ文化のひかり』

山口県高等学校文化連盟が発足して5年目を迎えたのを機に、今年度の県総合文化祭にテーマを設けました。この力強いテーマは、単に今年度だけのものではなく、今後の高文連活動の道標となるような気がします。

昨年6月14日、光市民ホールで開催された総合開会式は、会場を埋め尽くした高校生の熱意にあふれています。それ以来11月まで、県内各地で展開された総文祭は、一貫してこのテーマを掲げ、高校生による芸術文化活動の発表と交流の場として十分な成果を収めました。

とりわけ中村女子高校で開かれた日本音楽・吟詠部門発表大会における盲学校生徒の琴の合奏“光輝”は、その曲名のとおり聴く人の心に光明を与え、聾学校生徒による“陶ヶ岳太鼓”的演奏は、見る人の魂に深く響きわたりました。

物の豊かさを超えて、心の豊かさを希求しなければならない今、高校生という多感な時期に、様々な文化活動を通じて、美しいもの、優れたものへのみずみずしい感性と温い徳性を磨くことは、極めて大切なことです。県総文祭を今後とも、高校生達の心の豊かさを育くむ場として充実発展させなければなりません。

さて、猛暑の8月、香川で開かれた全国高校総合文化祭においても、本県勢は日頃の研鑽の成果を披露し、各部門で高い評価を得ました。

また囲碁部門における全国大会での2冠達成は記念すべき快挙であり、全国高文連主催の全国高校文芸コンクールで、文部大臣奨励賞、最優秀賞を獲得したのも特筆すべきことでした。

さらに、高文連とは直接関係はないものの、全日本吹奏楽コンクールで、下松高校吹奏楽部が見事に金賞を射止めたことは、今後の高文連活動の大きなはずみになるものと信じます。

一方、限られた学校ではありますが、演劇や音楽などの芸術文化に直接ふれて、自己を磨く機会にしていただくための巡回事業も、好評がありました。

こうした数々の成果を残して、本年度の事業はすべて終了しましたが、これも高校生自身のひたむきな努力と熱意、先生方の献身的な御指導、さらには県教育委員会はじめ関係機関の温かい御支援の賜物であります。

この1年間の汗と感動の足跡を、集録第3号“高文連”にまとめました。原稿を執筆いただいた方々、高文連活動を支えてくださった多くの方々に、深甚なる謝意を表して、発刊のごあいさつといたします。

# 山口県高等学校文化連盟各部門の報告

## 器楽・管弦楽部門

理事長 松永忠雄

(下関南高等学校)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門では今年度、次のような事業を行いました。

- 平成3年度 第13回山口県高等学校総合文化祭総合開会式における祝祭演技として合唱部門との合同演奏

6月14日(金) 光市民ホール

曲目 “ハレルヤ” “大地讃頌”

指揮 宮本義郎(光高校)

器楽・管弦楽部門より5校65名参加出演

- 平成3年度 第13回山口県高等学校総合文化祭音楽部門発表会(第42回山口県高等学校連合音楽会)

6月15、16日(土、日) 光市民ホール

参加8校による各校、ギター、マンドリン、弦楽合奏、管弦楽の演奏

- 文化庁芸術文化指導者地方派遣事業としての山口県高等学校器楽・管弦楽指導者講習会

7月29日(月) 下関南高等学校音楽堂

講師 日高毅(東京芸術大学教授)

受講 指導者15名、関係生徒45名

※ 悪天候(台風9号)につき交通機関不能のため受講者は予定の半数

- 平成3年度 山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会

12月13日(金) 下関南高等学校校長室  
部会長以下、出席者11名

第11回器楽・管弦楽スプリングコンサート(下関大会)、県総文、全総文、国際交流事業計画、高文連表彰などについて協議

- 第11回山口県高等学校器楽・管弦楽スプリングコンサート

3月27日(金) 下関市文化会館  
参加8校(予定)による各校、ギター・マンドリン、弦楽合奏、管弦楽の演奏



第13回山口県高等学校総合文化祭 総合開会式

各部門の報告

## 合唱部門

理事長 中尾綾子

(宇部中央高等学校)

総合開会式を1日とした最初の県総文は、事前にどんな内容にしたらよいかいろいろな会で協議されたが、ほぼ前年同様となった。「高文連の歌」「ハallelヤ」「大地讃頌」、合同合唱には「みんなのふるさと」とオーケストラやモデルバンド等といっしょに12校約370人が合唱した。また3月に訪韓した山口県高等学校合唱団も報告を兼ねて演奏をした。次の日から行われる音楽4部門の発表会との関係で交通費や宿泊費が必要となり予算面でいろいろと不自由ではあったが、

生徒は、若さあふれるいい合唱をしたと思う。8月に香川県で開催された全総文には、宇部中央高校が参加した。全国レベルでの演奏会に、生徒もいい勉強になったと思う。来年度の沖縄大会は、野田学園高校が参加する。3月26日には宇部で、鈴木捺香子先生を講師として合唱講習会を開催する予定である。基礎を大切にして、よりよい合唱ができるよう、みのり多き会となることを期待している。

各部門の報告

## 吹奏楽部門

理事長 重広昭雄

(防府高等学校)

平成3年度の県高校総文祭音楽部門は、光高校を主管校として、盛大に開催することができました。今年度から総合開会式が音楽部門より独立したため、3日間の大会運営をお願いすることになり、主管地区の関係者に多大な御迷惑をおかけいたしました。御協力下さいました光地区の実行委員・生徒補助員に厚くお礼を申し上げます。

さて、高文連吹奏楽部会は、主に下記の事項を配慮して運営しています。

①山口県高文連理事長会議 企画運営委員会  
毎年理事長会議と企画運営委員会で予算・行事等が審議されます。会議での資料等を配付し正確な情報を提供するように努めています。関係顧問の出席者は70数校です。

### ②課外クラブとして

高等学校の教育活動として、高文連が設立され、吹奏楽部会（顧問会議）が開催できるようになりましたので、設立以前よりも吹奏楽振興のための活用（運営）が望まれます。そのため指導者の育成を兼ねた研修会を開催し、指導顧問の資質向上に努めています。（平成3年度はディレクターズバンドを編成し研修した。）

### ③吹奏楽活動

現在の高文連予算では、吹奏楽部会単独で行事を開催することは不可能です。音楽4部門の発表会（6月）を実施することが限界であると思われる所以、県芸術祭吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテスト等に高文連の共催をお願いして、高等学校吹奏楽部の活動目標（振興）

にしています。

#### ④県高校総文祭総合開会式

高文連11部門が参加して開催される総合開会式には、開催地区の関係顧問にお願いして地区の吹奏楽活動振興を兼ねたモデルバンドを編成し参加しています。生徒と関係顧問が『参加して良かった』と実感できる運営法を研究していただき、吹奏楽部会として出演しています。

現在の総合開会式予算では、第7回全国総文で編成した山口県高等学校選抜バンド（111名）の方向で企画することは無理です。現実的対応方法として、地区の編成で吹奏楽研修会として活用していただきたい。

#### ⑤全国総文部会推薦

全国高等学校文化連盟吹奏楽部会理事長会議で討議される議題に、各県の出場団体選考法が話題にあがる。運動部の全国総体（インターハイ）と同様に『最優秀団体を推薦してほしい』と毎年強い要望をいただいて帰る。吹奏楽部会では、前年度の吹奏楽コンクール山口県大会で中国支部大会への出場権を得た団体で、過去全総文に出演していない団体を推薦している。結果的には、山口県の優秀団体を部会の承認を得て推薦することになる。

#### ⑥山口県高等学校山東省親善訪問吹奏楽団

山口県と山東省が友好協定を締結して、今年は10周年を迎える。この件についての対応法については、吹奏楽部会の役員に御一任いただき

ましたので、県教育委員会、高文連、吹奏楽部会等関係者で御相談申し上げ、下記のように決定いたしましたので、御理解の上御協力をお願ひいたします。

（案）

〔名称〕 山口県高等学校山東省親善訪問吹奏楽団

〔目的〕 山口県と中国山東省の友好協定締結10周年を記念して、本県の高等学校吹奏楽団が山東省を親善訪問し、芸術文化活動を通して国際理解を深めるとともに、日中友好親善に寄与する。

〔編成〕 下松、防府、防府西、下関商業、4校で編成 50名

〔期間〕 平成4年8月18日～24日

（旅費の半額と練習会経費を自己負担）

#### ⑦平成3年度吹奏楽活動の報告

山口県高文祭吹奏楽部会（光地区）

〔モデルバンド編成について〕

全国総合文化祭吹奏楽部門参加

〔下関西高等学校吹奏楽部〕

全日本吹奏楽コンクール金賞受賞団体

〔下松高等学校吹奏楽部〕

なお、平成3年度の山口県高文連吹奏楽部会は、11月30日（土）西京高校で開催いたしました。当日は、県教育委員会をはじめ、繁富高文連会長 今橋高体連会長の激励を頂戴する幸運に恵まれました。厚くお礼を申し上げます。

## マーチングバンド・バトントワーリング部門

理事長 花村 慈照

(宇部女子高等学校)

マーチングバンド、バトントワーリング部門に現在加入している学校は、県立佐波高等学校、県立岩国工業高等学校、早鞆高等学校、宇部女子高等学校、三田尻女子高等学校の5校であり、内訳はバンドに佐波高校と岩国工業高校の2校で、バトンは早鞆高校、宇部女子高校、三田尻女子高校の3校であり、他の部門に比べて、参加校が少ないとさびしい思いがします。この部門は他の部門と比べて大変派手ですが、この部門に多くの参加が見られない理由の一つとして、県内に、充分な技術指導者が少ないとあります。日頃の活動として、地元のイベント等に参加されてすばらしい成績を上げています。またバンドの2校は吹奏楽連盟に参

加され、演奏会等に参加されております。バトンの3校は毎年6月に実施されている、山口県高等学校総合文化祭に一同が集まり、一年間の演技の向上を競う場であり、また、生徒達の交流の場である、大変意義のある、文化祭であります。同部門に参加されている5校は演奏、演技力はバツグンでありますが、多くの学校の参加を希望しております。平成3年度の全国高等学校総合文化祭（香川大会）には、マーチングバンドで県立岩国工業高等学校吹奏楽部とバトンで宇部女子高等学校バトン部が参加し、パレードとフロアドリルに参加し観客を魅了する演技が披露できました。

第15回全国高等学校総合文化祭 パレードに参加する岩国工高と宇部女子高 高松市



## 日本音楽部門

理事長 中野靖子  
(中村女子高等学校)

本年度の日本音楽部門の活動状況を日を追つてふりかえってみます。

まず、光高等学校主管校のもと、6月14日、光市民会館で盛大に開催された、山口県高等学校総合文化祭の開幕式典において、韓国慶尚南道親善訪問文化交流演奏に参加した、4校(防府高校・山口高校・山口県鴻城・中村女子高校)15名が出演し、披露しました。

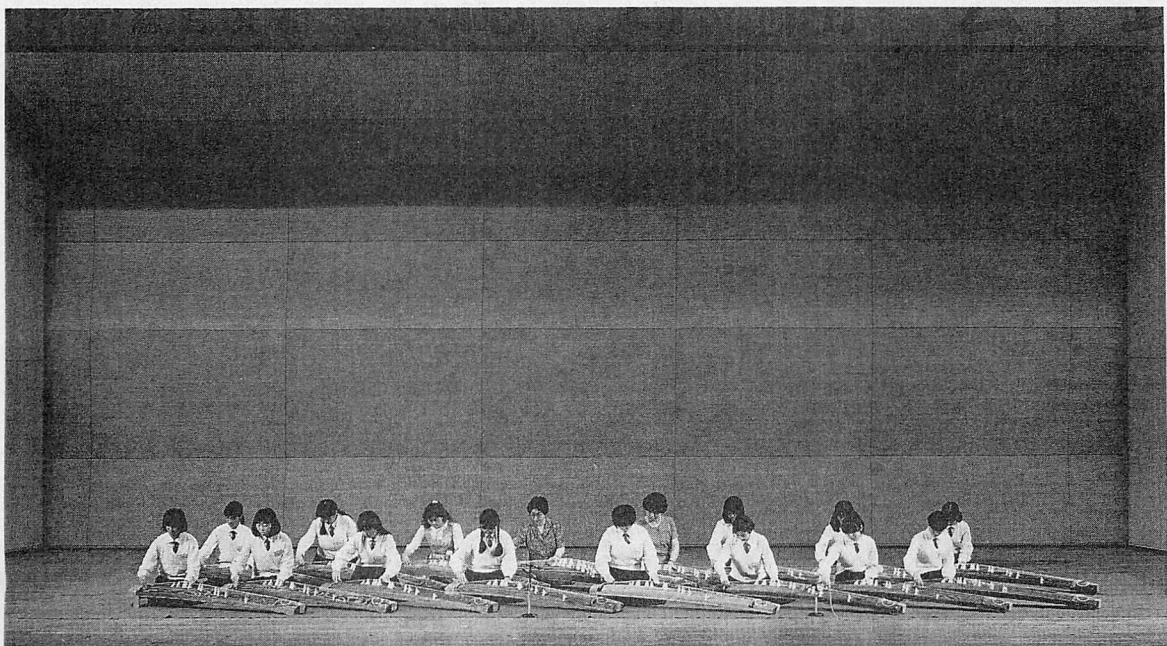


日本音楽部門と吟詠剣詩舞部門の会場 中村女子高

つづいて、6月23日、日本音楽部門と吟詠・剣詩部門の合同発表大会が、中村女子高校を主管校として、同校の講堂で開催されました。19校164名の参加を得、各校とも堂々として立派な演奏でした。ここで感じたことは、暗譜が少ない、弦のおさえが今一步など、今後の課題も残されていますが、ともかく参加校が増えてきている現状に感謝いたします。

また本年度の全国高等学校総合文化祭は、8月2日、四国路高松市で開催され、山口県代表として、中村女子高等学校が出場しました。全国70校出場のなか、抒情豊かに、少人数ではありましたがあ、上手に演奏してくれました。わずか45分の演奏でしたが、生徒達は一生懸命でした。観客の拍手に胸が熱くもなりました。全県暗譜、人数の多さに迫力負け等いろんな経験をしたようで、レベルの高さに圧倒されました。

以上が平成3年度活動状況のおもなものです。



慶尚南道親善訪問文化交流演奏会に参加した4校の生徒たち 総合開会式 光市民ホール

## 吟詠 剣詩舞 部門

理事長 中野雅行  
(下関工業高等学校)

本年度の吟詠剣詩舞部門の活動状況を、日を追ってふりかえってみたい。

まず、6月14日光市市民ホールで開催された山口県高等学校総合文化祭の開幕式典において、書道吟「室積の月」を発表した。書道は徳山高の書道部員（女子）が、また吟詠は聖光高の吟詠部員（女子）がつとめた。書も吟もどちらも堂々として見事な発表であった。参考までに詩文を次に掲げる。

室積の月 森本 晴風

天光相耀う海湾の頭一夜遙に来つて又舟を泛ぶ  
室積の断磯君が愛する処 峨帽山の月古今の秋

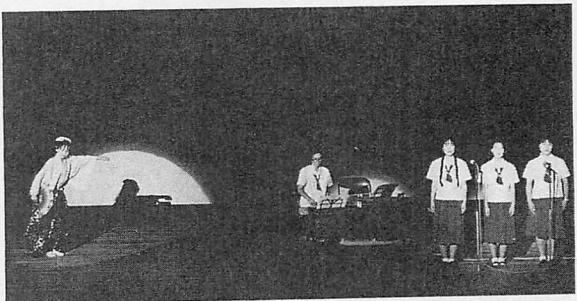


聖光高と徳山高の書道吟

つづいて6月23日、本部門と日本音楽部門の合同発表大会が中村女子高を主管校として、中村女子高講堂において開催された。ここでは聖光高と下関工高がチームを組んで構成吟「下関の歴史を詠う」を発表した。

下関は、その地理的位置からたびたび歴史の舞台に登場し、またその節目節目に重要な人物を輩出させている。これを25分の構成吟にまとめたものである。ナレーションのときには関連した場面を、また吟詠中は詩文をスライドで映した。間には聖光高の詩舞と下関工高の居合をはさんだ。両校ともよく練習しており満足のい

く発表であったと思う。この構成吟はそのまま全国大会でも発表された。



聖光高の詩舞

県大会の運営にあたっては、中村女子高の多数の生徒諸君と教職員が積極的に協力されたお陰で円滑に進行し、予定どおりの時間に終了することができた。ここにあらためて厚くお礼申し上げる。

本年度の全国高等学校総合文化祭は「青春の夢さんさん いま香川の空と海に」のメインテーマの下、全国から87校の参加をえて、8月4日、香川県の高松市民館で開催された。

本県の順番は構成吟としては後から3番目でつめかけた多数の観客の前で堂々とした発表を行い多大の感銘を与えた。

今年度の特徴は、学校単独の合吟が少なくな



聖光高と下関工高の合吟

った反面、剣詩舞や県単位の構成吟が増えてきている。したがって舞台はたいへん華やかなものになって来ている。この傾向は今後も続くものと思われる。

8月11日には山口県教育会主催の「第3回山口県学校吟剣詩舞道大会」の独吟コンクール部門と自由参加部門の両方に参加した。山口県高文連会長の繁富先生が審査員の一員として審査にあたられた独吟コンクール部門は小、中、高、大学の各部に分かれている。高校生の部は1位高水高3年佐尾香織、2位桜ヶ丘高3年桑嶋和子、3位聖光高3年石見芳枝であった。高水高の佐尾さんの吟はすばらしく、最優秀賞を受賞された。今回はじめて山口朝鮮高校の参加があり、そのうちの一人が入賞されたことも特筆さ



下関工高の居合吟

れるべきであろう。

以上で本年度活動の概要を終るが、県大会の参加が少ないので淋しい限りである。正課クラブで詩吟をとっている学校はまだかなりあるので、これらの学校に呼びかけて参加を促すことが次年度の最大の課題である。

#### 各部門の報告

## 囲碁部門

理事長 川崎長門  
(徳山高等学校)

平成3年度の高文連の囲碁部門の第4回全国大会は平成4年1月19日(日)に東京の筑波大付属駒場高校で26都道府県が参加して行われました。山口県選手の成績は女子個人戦A組の三木京子さん(徳山高2年)が第4位でした。他の3選手男子個人戦A組山田豊君(下関西高2年)同B組貞政耕也君(宇部工業高2年)女子個人戦B組三木夕子さん(徳山工業高2年)もそれぞれ健闘しました。特に三木京子さんは昨年度の高文連囲碁部門全国大会と夏の全国高校囲碁選手権大会と連続優勝し、その素晴らしい戦績に対して県教育長賞、新南陽市長賞がそれぞれ2回、栄光のメダル(県知事賞)高文連優秀芸術文化賞が与えられました。全国大会は来年度は沖縄、再来年度は埼玉で行われる予定です。平成4年度の山口県囲碁部門大会は来年度から

事務局が徳山高校から下関西高校に移りますので11月29日(日)に下関西高校で行います。囲碁部門の当面の課題は底辺の拡大です。一人でも多くの若い人たちに日本の古来の伝統文化の一つである囲碁の面白さ、奥深さを知ってもらって楽しんでもらうことです。最近の高校生のレベルでは日本は毎年定期戦を行う中国との試合に負けるようになりました。韓国にも間もなく追いつかれようとしています。囲碁は別名『手談』とも言って、たとえ言葉が通じなくても黒石と白石を媒介として会話ができ、お互いの意志が通い合います。アメリカでもヨーロッパでもオーストラリアでもこの東洋が生んだ素晴らしい競技である囲碁をたしなむ人が増えています。この手談を通して日本のみならず世界中の友好の輪を広げて行きたいものです。

## 演劇部門

理事長 三藤真人  
(厚狭高等学校)

### 地区大会

県下の高校演劇部にとって新年度出発とともに熱く高まつくる8月の地区大会への思い。本年も各地区でその熱気が充分に感じられた。新しく同好会を結成して初舞台となる所あり、久方ぶりの上演技ありで、各地区とも新鮮な雰囲気が感じられた。

舞台の上で演技を楽しめること、それがまた自然に観る者の心を引き寄せ、さらに人の心を揺するものとなる…あるいは密かに心のどこかに残る。演劇の世界は広く深い。

この地区大会の面白さが、実にそのバラエティーに富む所でもある。素朴な高校生の姿が、はつらつとして舞台に展開される。そこから新しい創造が深められていくだろう。

一つ思うことは、演劇部の仲間の上演をもっと多くの高校生、一般の方に鑑賞してもらえたと思うことである。

### 県大会

本年度、第13回県高校総文祭は光市民ホールでの総合開会式にその幕を切っておとした。

その式典に先だって、光高校の「アドレ・ナリコン」の祝祭演技、演者の個性が生きていて、さらりと楽しめる作品だった。

演劇部門の大会はそれから4ヶ月余り後、11月1日・2日に、岩国市民会館で開催した。岩陽高校を主管として岩国地区の高校の協力によるものだった。

講師に本年は、篠崎光正先生（桐朋学園大助教授、演出・演技指導家）をお招きした。出演校ごとに懇切なご講評をいただくことができた。

4地区から7校、選ばれた学校の出場だけあって、見所ある舞台を創りだしていた。

### ○防府高校

「時の兵士」 一万田鉄男作

ギリシャ神話の時代、火を与えられた人間がいかなる道を歩むことになったか。大がかりな舞台、衣装、小道具に工夫が見られた。演者の演技がそれらの装置を充分に活かし得たかどうか。場面によっては壯重さが欲しかった。

### ○高森高校

「DOLL」 如月小春作

女子高校生の現実に近いある一面を見せてくれる作。生き生きとした科白、動き、練習も足りてよく演じられた。概して演者が力まずに、自然であったところによさがある。

### ○宇部高校

「E S C A P E」 如月小春作

金融界で問題となっている社会的不正を生み出してくる人間心理、個々人の立場・存在を描こうという作。演者のその役に入りこんだみごとさ。また舞台監督をはじめとする裏方の緊密さは大きく演技を支えている。テキパキとした舞台の運びに完成度の高さがうかがえた。

### ○響高校

「不思議なクリスマスのつくりかた」

成井 豊作

舞台の上で演技することを皆が楽しんでいる。そんな感じだった。動き、表情、声、呼吸や汗までが感じられるように思った。地区大会以後の工夫、その成果もみられ、なかなかの熱演だった。

○県鴻城高校

「悪魔のいるクリスマス」 在間ジロ作  
公園らしい？。ブランコがただ一つの舞台。  
売れていない作家（私）が、二人の少年少女に  
出会う。軽いやりとりから次第に少年少女の不  
思議な世界に引きこまれて、人間そのものの天  
使性・悪魔性を考えさせられる。  
脚本をよく消化して舞台の空間をよくうずめ  
てくれていた。

○下関南高校

「乙姫の叛乱」 林 黒土作  
舞台中央の大メトロノーム。この時の刻みが  
歴史に影りつけてきたものは何か。こんな思い  
で（浅いかもしれないが）観た。あの不幸な時  
代の残した朝鮮・韓国人々との関係を描き演  
じる舞台が、昨年も今年もこうして見られるの  
だが、ここにも演劇のあり方がある。重厚な出  
来ばえだった。

○岩陽高校

「銀河鉄道の夜」 宮沢賢治 原作  
小松幹夫 脚色

「作品の持つ透明感を舞台に」というねらいで  
演じられた。賢治特有の神聖さと親しみ安い登  
場人物の設定で、永く高校演劇の世界で取りく  
まれている。今年の岩陽高は演技の光るものは  
ありながら、作品の雰囲気をつくるこまか神  
経が舞台のすみずみに行きわたっていなかつた  
のがおしまれる。

2日間にわたる熱演であったが、中国大会出  
場を克ち得たのは宇部高校と岩陽高校だった。

中国大会

第29回中国地区高校演劇大会は広島で開催。  
県代表の宇部高校が広島県教育長賞、岩陽高校  
が中国地区高校演劇協議会長賞を得たが、全国  
大会へは、広島の鈴峯女子高校が選ばれて終了  
した。

## 美術・工芸部門

理事長 師井俊夫

(山口高等学校)

### 1. 県総合文化祭開会式

本年度は光高校主管のもと、6月14日に光市民ホールで催され、展示部門はロビーにて美術、書道、写真3部門の発表が行われた。美術、工芸は昨年度全国総文に出品した作品と光地区高校の作品を展示し、県内高校の優秀作品を鑑賞してもらった。ロビーでの展示は作品を鑑賞するということからは最適ではないかもしれないが、やはり、より多くの多部門の生徒の目に触れたことは多いに意義があったと思う。

### 2. 全国高等学校総合文化祭

全国高校総文の美術工芸部門は、8月1~4日高校市美術館で行なわれた。全国から各県代表の作品が一堂に会しただけあって、レベルは可成り高く見ごたえのある展覧会である。本県からは、柳井高校2年坂本雅子(絵画)、大嶺高校1年古谷正行(絵画)、萩工業高校2年竹下達麻(絵画)、西京高校2年河村さよ美(彫刻)、宇部女子高校1年西村幸恵(デザイン)の計5点が出品された。本県の作品もよくがんばっているが、もう少し描き込みが欲しい。全国レベルから見ると今一步の感がある。ただ本県の場合、美術工芸では全国総文への出品作品を前年度の県総文の優秀作品から選んでいる関係上、1、2年生の作品の中からということになるが、3年からも選べるよう運営上考える必要がある。できればこの全国総文を県内高校生の一人でも多くの人に見てもらいたい感を強くする。そしてその作品の質を高めていただきたい。

### 3. 県高校総合文化祭美術工芸部門

今年度の県総文展示部門は、宇部工業高校主管のもとで、真夏日の8月17、18、19日宇部市文化会館で開催された。今年度からの新しい試

みとして展示部門では優秀賞が設けられた。これは高校文化祭の趣旨を考え、制作者の励みとして質の向上を目指し、作品の拡がりを期したもので、出品作品の一割をそれに充てることになった。美術工芸部門では出品総数156点の内、16点を優秀賞とし、更にこの中から4点が全国総文への候補作品と決った。

高校生の美術作品を見て思うことは、キャンバス或いは粘土なりにこれでもかこれでもかとくらいついてもらいたい。美術はこれらのモノを介しての自己表現である。上手とか下手とかはその結果であって、そんなことは抜きにしてやってみるとよい。そうすることによって芸術の糸口がつかめ、色々の作品がわかつてくるものと思う。満足のいく作品はなかなかできるものではないが、その時その時の充実感はやはり嬉しいものである。

## 書道部門

理事長 荒瀬 宏  
(防府高等学校)

本年度から、音楽部門発表会の前日に総合開会式典が設定され、11部門の紹介も充実したものとなった。書道部門は吟詠部門との合同で、『書道吟』が披露され、観客にアピールするものがあった——担当の有富教諭（徳山高）の言。折角の力作はどこへ？ 直後、ロビーに展示してほしかった。

展示関係3部門は、地域の各校、前年度全総文出品作を集め、広いロビーを有効に活用した。ただ、音楽部門の楽器等との混在はどうであつたろうか。いづれ、各地域の部活動の活性化が目標であり、ご協力をお願いします。

ことしの総合開幕式典での観客のマナーについては不満であった。現代高校生の訓練不足と指導の工夫はこれでよいのか。ものを創り出す者とそれを鑑賞する者との真摯なぶつかり合いを期待したいものである。

### （全総文香川大会）

全総文香川大会には、宇部中央・野田・山口中央3校の生徒と指導教師が参加した。いづれも、高校生らしい真面目な作風で、着実な部活動の成果として誇らしく思った。ただ、展示場の天井の低さ、室内の暗さ、開催県の出品数の多さ、低次元の講評会など不満が多い。

全国組織として、教師の勉強の場がほしい。各県代表者会議による議決であってほしい。他の全国組織団体と絶縁し、ブロック単位の組織を充実してほしい等この注文を提出しておいた。次年度から改訂すること。充実した活動が期待される。

### （県総文展示関係部門発表会）

県総文展示関係部門発表会は、会場の関係からか、夏休み中に開催された。出品校、作品点数ともにやや減少したのはやむを得ない。しか

し、『優秀賞』——出品点数の10%選出は、他部門との調和から、ことし初めて試みられた。審査時に出席した7名の教師で投票形式で行われ、同点者のみ話し合いで決定した。書道部門の主張は、優劣を競うのではなく、日常の部活を大事にし、より高校生らしさを追求することにある。県段階で審査することが、作品のレベルアップに連なるとの考えは、真に教育的なことなのか。高文連発足当時の理想はどうであったのか。絶えず問い合わせてゆきたいものです。

### （書道部門会議）

この1年をふり返る部門会議を12月5日に開催しました。16名の先生方のご出席をいただき、以下のことに決定しました。ご協力よろしくお願い致します。

- 次年度県総文開幕式典——徳山高有富先生のお世話で、展示参加の予定。
- 次年度県総文展示部門発表会——宇部湖水ホールで開催。11月13、14、15日。
- 次年度全総文沖縄大会出品参加予定校——宇部西、厚狭、香川、防府4校。以前の3校が4校へ微増しました。
- 専門部組織決定——各地域のお世話をお願いします。岩国（岩見屋）柳井（高山）徳山（有富）山防（古屋）宇部（岡）下関（生田）長北（佐川）
- 専門部研修費の活用で、10年ぶりに教員書作展を開催することができました。33名の出品で盛会でした。次年度も、8月下旬、山口市民館で開催予定です。1人でも多くの顧問教師・高校生の参加をお願い致します。

## 写真部門

理事長 藤川明徳

(柳井高等学校)

### ◎県総文について

第13回山口県高等学校総合文化祭が6月14日、光市民ホールで幕が開き、これ以降、各地でそれぞれの部門で発表が繰り広げられました。写真部門として、この光市民ホールの総合開会式に写真10点（全国総文に出展）を展示し花を添えました。

写真の展示は8月16日から宇部文化会館で開催されました。この会場は専門の展示場であって、並べられた作品は実力以上の作品に見え、作者はこれが自分の作品かと目を疑った事でしょう。今年より出展数（約120点出展）の1割を優秀作品（そのうち5点は全国高文連へ推薦候補）として表示することになりました。また審査をお願いした近藤悦二（全日写連宇部支部長）氏の講評と指導を来場した生徒諸君は受けることができ大変勉強になった事だと思います。

今年は8月であった為、作品の出来に自信が持てない人もいたでしょう。だが、来年は2学期中旬となる予定ですのでしっかりした作品が出て来るものと期待しています。

### ◎県高文連写真部会について

始めて部顧問の技術のレベルアップを目的とした研修会を部会と共に開くことができました。10月27日(日)柳井高及び柳井市内で昨年展示会の審査をお願いした浜本栄（二科会会友）氏の指導の下に楽しい一時を過しました。スライ



柳井市での撮影会

ドによる指導では着眼点、シボリとスピードの関係、トリミングの仕方など初步的な事から程度の高いものまで含み大変勉強になりました。午後は同氏の指導で「白壁の町柳井」を題材とした撮影会に入りました。モデルは柳井高写真部員の素人でありカメラマンも大変苦労しましたが撮影会の雰囲気は味ってもらえたと思っています。今回は顧問だけの会を考えていましたが、ある学校より生徒参加をと言う強い要望があり生徒と共に学ぶ会となりました。終ってみて、これが理想かなと思うところあり、来年も今年と同じ会を企画するつもりでおりますので是非参加し、共に勉強しましょう。

### ◎全国高文連について

8月初め香川県で全国高文連が開かれ山口県より5点出展しました。そのうちの岩国工業・佐伯君の作品（体育祭の騎馬戦）が優秀作品として選ばれました。過去、山口県には無かった事で大変喜ばしい事です。これも県のレベルが上って来た証拠でしょうか。審査員の土田ヒロミ氏の評や全体を見て選ばれる作品の傾向は次の①～⑤だと私は思いました。

- ①高校生らしい着眼点
- ②確かな暗室技術
- ③ピントしつかり
- ④あそびの心
- ⑤カラーでは色のバランス

写真部は特に瀬戸大橋を題材とする撮影会を開き全国から集った若者が船から身を乗り出し橋を下から、バスや展望台から下へカメラを向けパチパチ撮っていました。同じ趣味と言う事もあるのでしょうかすぐに仲よくなり楽しくしゃべりながら交歓していました。



# 第13回山口県高等学校総合文化祭の記録

『大会テーマ』 “ひびけ青春の声  
かがやけ文化の光”

●総合開会式	6/14(金)	光市民ホール
●音楽関係 4部門	6/15(土)・16(日)	光市民ホール
・器楽・管弦楽部門		
・合唱部門		
・吹奏楽部門		
・マーチングバンド バトントワーリング部門		
●日本音楽・吟詠部門	6/23(日)	中村女子高校
・日本音楽部門		
・吟詠・剣詩舞部門		
●展示関係部門	8/17(土)・18(日)・19(月)	宇部市文化会館
・美術・工芸部門		
・書道部門		
・写真部門		
●囲碁部門	10/29(日)	徳山高等学校
●演劇部門	11/1(金)・2(土)	岩国市民会館

# 総合開会式

於：光市民ホール



第13回山口県高等学校総合文化祭 総合開会式 光市民ホール

主管校 高富幸雄 宮本義郎  
(光高等学校教諭)

平成3年度の第13回山口県高等学校総合文化祭の総合開会式並びに音楽部門発表会、第42回山口県高等学校連合音楽会は、6月14日から6月16日までの3日間、光市民ホールを会場として、盛大に行われました。

総合開会式は、昨年度までの開幕式典を、連合音楽会から切り離し、山口県高文連加盟の11部門すべてに参加をお願いして、6月14日に挙行されました。そのため日程が1日延びたこともあります、参加各高校の宿泊や交通にも多大の御苦労をお掛けしましたが、各部門理事長の先生方の御理解と御協力により、素晴らしい開会式にしていただきました。4月以降、総合開会式までの準備委員会、実行委員会、打合せを通じて、総合文化祭を成功させようという先生方の御熱意には、全く頭の下がる思いがしました。

これはまた、実行委員としてお世話を下さった

光・下松地区7高校の先生方、生徒役員の諸君にもそのままあてはまるのことでした。

それぞれの部門を大切に預かっておられ、それぞれの学校で教鞭をとつておられる先生方が、それぞれの学校で学ぶ生徒諸君が、自分の部門のためになく、自分の学校のためになく、総合文化祭のためにまとまれるのだろうか、意志の疎通を欠きはしないのだろうか、それが私ども主管校の唯一の気掛かりであったのですが、それは全くの杞憂に過ぎませんでした。初夏の暑い日差しの下、また雨の中で、光・下松地区的役員の先生方、生徒諸君は汗を流して働いて下さいました。日ごろ職場を異にしていようと、また学ぶ場が違っていようと、総合開会式を盛り上げようと、目的が一つになった時、人は心から協力し合えるのだなど、私どもは強く印象づけられたことでした。

### ◇総合開会式式典

総合開会式は、6月14日午後1時、光丘高校2年生岡本壮史君の開会宣言によって、華やかに開会されました。ファンファーレ、山口県高文連加盟11部門代表の入場に続いて、光・下松地区高等学校合同吹奏楽団の伴奏による“高文連の歌”の全員合唱が行われ、ここで光高校2年生、光丘高校1年生計700名を含む超満員の会場の雰囲気は、一気に盛り上りました。

「総合開会式も生徒中心でいこう。それが総合文化祭を成功させる鍵になる。」というのが本総合開会式実行委員会の意向でしたから、“あいさつ”的部でも、繁富健治山口県高文連会長、高

山治山口県教育長の御あいさつの後、地元高校生を代表して、光高校2年生益田信二君が歓迎のことばを述べましたが、ユーモアを交えた、若者らしい力強さを感じさせるものでした。

水木英夫光市長の祝辞、高文連功労者に対する表彰、山口県高文連加盟11部門の紹介と式典は滞りなく進行されましたが、この間の進行アナウンスを担当してくれたのは、下松高校放送部の諸君でした。放送技術もさることながら、全体にゆき届いた心配りは、さすがと思わせるものがありました。

こうして総合開会式の式典は無事終了し、引き続いて祝祭演技に移りました。

(左、下)  
総合開会式  
光市民ホール



# 第13回 山口県高等学校総合文化祭 総合開会式



総合開会式 合同演奏 光市民ホール

## ◇祝祭演技

### 〈器楽、管弦楽部門〉

オーケストラ（下関南高、下関第一高、山口中央高、柳井高、防府高）70名、コーラス（宇部中央高、防府高、野田学園高、香川学園高、萩高、安下庄高、岩国高、熊毛北高、下松高、光丘高、徳山高、宇部高）350名、指揮官本義郎（光高）による合同演奏“ハallelヤ”、“大地讃頌”は大人数のため光市民ホールステージ、客席にまで広がったコーラスになりました。ホール全体に力強くサウンドを響かせ立派な演奏でした。

### 〈合唱部門〉

本年度の合唱は3月に大韓民国慶尚南道親善訪問文化交流団として交流演奏された時の曲目を、光市民ホールで再現させました。（宇部中央高、萩高、防府高、野田学園高、香川学園高、宇部高、岩国高）56名、指揮有富美子（萩高）、石島栄子（野田学園高）、中尾綾子（宇部中央高）による合同演奏。曲目は“この愛を”、“森へ行きましょう”、“サランヘ”で、楽しく澄んだハーモニーとレベルの高い演奏をされました。また合唱団代表生徒による交流会の話など、国際的な

立場に立っての実感を聴衆に伝えたと思います。

### 〈吹奏楽部門〉

開幕式典のファンファーレ、各部門紹介時のマーチ、“高文連の歌”伴奏、慶祝演奏のため光・下松地区の合同バンド（下松高、華陵高、熊毛北高、聖光高、光丘高、光高）82名、指揮即席胡文（光高）を組織、6月1日に1回の合同練習を組みました。ステージでは“祝典進行曲”を演奏、光地区の生徒にとっていい勉強になったと思います。

### 〈マーチング・バトン部門〉

岩国工業高のマーチングにあわせて早鞆高、宇部女子高、三田尻女子高のバトン演技、会場満員だったため演技者にとって非常にむづかしかったと思われますが、華やかに演技がおこなわれました。

前日の大雨から心配された天候は回復したものの客席前部が水びたし、リハーサルは1時間かけての排水作業からはじまり、最後に全員合唱“みんなの故郷”指揮有富美子（萩高）地区合同バンドの伴奏でうたって、感動の慶祝演奏は幕をとじました。

# 音楽関係4部門

## ① 器楽・管弦楽部門

会場・光市民ホール

理事長 松永忠雄  
(下関南高等学校)

平成3年度第13回山口県高等学校総合文化祭の音楽部門発表会は6月15日(土)、16日(日)の両日、光市民ホールにおいて例年の如く、高文連各部門のトップを切って開催されました。

また、その前日の14日(金)には、過去12回にわたって行われた県総文開幕式典の内容をさらに充実させるために、本年度より各部門も参加して「総合開会式」に新しく模様を変えて、盛大に行われました。

器楽・管弦楽部門でも、毎年の合唱部門との合同演奏(曲目“ハレルヤ”“大地讃頌”)をさらに「レベルアップしたものにしよう」と、参加者一同積極的に取り組み、頑張りました。しかし、合同練習の時間的な制約や光市民ホールのステージの狭さもあり、また曲の調性を下げたことによって、演奏の盛り上がりという点においては今一歩という感は否めませんでした。選曲のマンネリ化も含めて次回への課題となりました。

さて、2日間にわたって開催された音楽部門発表会の器楽・管弦楽部門には、今年度もオーケストラ4校、ギター・マンドリン合奏3校、弦楽合奏1校の出演があり、多数の参加のあった吹奏楽部門(約50校)に混じって、一服の清涼剤ともいえる演奏を披露しました。各校とともに、弦楽器独特の艶やかで、柔らかい音色を備えた立派な演奏で、大会を大いに盛り上げました。

管弦楽は技術や編成、あるいはその普及など見るに、一部を除いて「まだまだ」という現状



があります。また、ギター・マンドリンなども一般的には愛好されて普及されているように思われますが、本格的な合奏となると、これまた決して十分とはいえません。

全国の高校生の中で「ベートーヴェンの運命は聴いたことがある」と答える生徒は多いでしょう。が「オーケストラの中に入って演奏した」という者は稀と思います。生徒は、実際の演奏に参加することで、より深い、真の感動を得るのではないかでしょうか。吹奏楽全盛の今日、音楽的にさらに一段と優れた合奏体である管弦楽活動を行うことは、より高く、より芸術的な感性を伸ばし、さらには集団の中で自己を生かす能力を養うことになり、心情豊かな社会の一員となるのではないでしょうか。

ともあれ現在、山口県内で部活動としてオーケストラを組織している高校は4校。全国的にみても少ないと思われます。「高校レベルでは技術的にも経済的にも無理である」という声もありますが、ハイレベルな吹奏楽活動が実践されている今日、出来ないことはありません。山口県にも先進県に負けない多くの立派な高校オーケストラが誕生することを望みます。

## ② 合唱部門

会場・光市民ホール



野田学園高

山口県高等学校合唱団  
(音楽4部門発表会開会式)



## ③ 吹奏楽部門

会場・光市民ホール

下松・光地区合同バンドを指揮して

即 席 湖 文  
(光高等学校)

第13回山口県高等学校総合文化祭の総合開会式と音楽部門の発表会は、本年は6月14日から6月16日までの3日間、光市民ホールで開催された。主管校光高等学校の吹奏楽部顧問として、合同バンドを編成し、また開幕式典を担当したものとして、反省点、気づきその他現時点で思い出せることなど書き綴ってみたいと思う。

まずこの合同バンドを編成するにはさまざまな困難があった。指揮を担当することになった私ですが、高等学校、大学を通じて吹奏楽や管

弦楽等に親しんできたものの、山口県の教員となって3年目、吹奏楽部顧問となって2年目、昨年は吹奏楽コンクールに出場したが、指揮の経験は正味1年というところ。加えて教科も音楽科でなく、高文連総合開会式の様子が全くわからない私は、高文連音楽部会との連絡不徹底や不慣れから、当初このような大役を引き受け大丈夫だろうかと思うと、不安でいっぱいだった。特に本校吹奏楽部のことを考えると、これまで吹奏楽コンクールでの実績がなく、また

この高文連音楽部門発表会の出演だけでも精一杯なのに、何曲も仕上げて演奏できるかどうか自信が持てなかつたのが本音である。

とはいっても、もう後には引けないので本校の音楽担当の宮本先生に助けてもらひながら、合同バンドの編成に取り組み始めた。まず急がなければならないことは、メンバーの召集と選曲、そして楽譜の購入とメンバーへの配布である。最初にメンバーの召集だが、時期的に本番まで1カ月しかないこと、予算的にも余裕がないことから、光地区の生徒を集め、それから下松地区の学校に出演依頼をすることとなった。まず光地区から光高35名、光丘高32名、聖光高6名の2、3年部員がリストアップされ、次に下松高7名、華陵高7名、熊毛北高14名の参加を依頼した結果、総勢97名のバンドをここに編成することができた。

続いて演奏曲目だが、本部から演奏依頼のあった曲の他に、主管校の方でファンファーレと式典を盛り上げるにふさわしい5分以内の曲を選ぶことになった。1回の練習で仕上げることができ、祝典にふさわしいということで団伊玖磨作曲の祝典行進曲を演奏することにした。楽譜が身近かにない場合は、さがすだけでも日時を費やすので、できるだけ早めに曲を決め、楽譜を手に入れる必要があるよう思う。

ところで、連休明けより楽譜を各校に配布し、次に全県下で県体が行なわれ体育館を使用できる6月2日を合同練習日に決め、各校に案内状を送付した。合同練習では前半をファンファーレ、祝典行進曲といった式典用の曲を、後半にバトントワリング部門の伴奏用の曲を練習した。生徒たちも初めての近隣の学校との合同での合奏ということで最初は少し緊張していたが、馴れるにしたがって伸び伸びした音もできるようになった。7曲ほど練習した中で最も苦労したのが、バトントワリングの伴奏のために演奏した「ガーデンパーティー」だった。大変技術的に難しい曲で、光高だけで練習した時は曲にならず、どうなることかと心配したが、下松高校のメン

バーにアドリブソロ等お願いし、彼らが快よく吹いてくれたため、なんとか演奏できるめどが立つた。

それから本番までの2週間足らずは、華陵高校の和田先生と総合開会式の打ち合わせをしたり、超多忙の中で合同演奏の曲や光高が発表する曲を練習し、本番に備えた。

さていよいよ本番だが6月14日の早朝から楽器を市民ホールに運び込み、9時よりリハーサルが始まる。まだ起きてまもない時間で当然いい音がしないし、生徒の反応も良くない。本番ではどうなるのかだんだん心配になる。リハーサルは約40分で終了、その後しばらく生徒の方は他室で音出しだが、私の方は舞台袖で総合開会式の準備にとりかかる。めまぐるしく舞台転換するステージを慌ただしくかけまわる。そういう間にすぐ合同バンドのセッティングが始まる。このころには客席には光高校の生徒が着席し、私の方に「がんばって！」と声をかけてくれた。

午後にはいり総合開会式の式典がファンファーレで始まった。私は背中に大勢の視線を感じ、緊張のためファンファーレのタイミングが少し遅れてしまったが、ファンファーレ隊の方は全員暗譜で前を向き、高らかにファンファーレを奏でた。その後各部門の発表がつづき、いよいよ合同バンドのステージ発表、今度は伸び伸び演奏しようと思い、できるだけ大きく、力を抜いて指揮した。その効があってかマーチは勇壮にメロディーを奏で、テンポも安定したものとなった。演奏が終わると、満員の聴衆からの拍手があり、とにかくその拍手のすばらしさは、これまでの苦労を吹きとばすものだった。

1日目はこれで終了し、2日目はバトントワリング演技の伴奏である。3校のバトントワリング部の演技の間、「学園天国」「A列車で行こう」「ガーデンパーティー」を演奏した。前日とは違つてメンバーも互いに打ち解け、軽快なドラムのビートの上を、これらのポップスが流れた。例年バトンの伴奏はテープでされていたの

であるが、今年は生バンド演奏ということで、ずいぶんバトン部門関係の方も喜んでおられたようだ。

2日目の午前中で合同バンドの演奏が終了したが、生徒たちは例年より多い曲数をこなし、練習も大変だったようだが、これまであまり機

会のなかつた他校との合同演奏を通して、音楽面に限らず、いろいろな面で得たものが大きかったのではないかと思う。また下松・光地区の先生方には御迷惑をかけたが、快よく合同バンド編成に力を貸していただき大変感謝している。

## ④ マーチングバンド・バトントワーリング部門

会場・光市民ホール

理事長 花村 慈照

(宇部女子高等学校)

本年度から3日間となりマーチングバンド・バトントワーリング部門は初日の総合開会式と2日目の音楽部門の発表会に出場しました。今年も昨年度と同じように、マーチングバンドが1校とバトントワーリングが3校で部門として淋しい思いがします。多くの学校に参加を呼びかけますが大変むつかしい状態です。来年度はぜひ多くの学校の参加をおねがいします。毎年この大会には吹奏楽部門の御協力を得て、地元の学校で合同バンドを作っていただいて、バトンの演技を助けていただいております。初日の総合開会式の中で祝祭演技は、岩国工業高等学校の演奏で、早鞆高校、三田尻女子高校、宇部女子高校の3校のバトン部が「愛は勝つ。ジュリアン」の曲にのって客席での演技を行ないました、当日初めて4校が集まって練習ただけであったがすばらしい、演奏、演技が出来たと思います。2日目は音楽部門の発表会には、出場順に、①早鞆高等学校「ガーデン・パーティ」②宇部女子高等学校「学園天国」③三田尻女子高等学校「A列車でいこう」を演技しました。テープではなく生演奏で行なったため、大変迫力のある作品となりました。協力をしていただいた生徒の皆さんありがとうございました。以下参加校の感想を書きます。

### 『県総文の想い出』

岩国工業高等学校2年 稲毛 智美

6月23日、24日山口県高校総合文化祭が光市で行なわれ、私達吹奏楽部は23日の開会式に祝祭演技で「愛は勝つ」「ジュリアン」を行ないました。朝、学校に集まるとすぐバスに乗り込み、バスの中はみんな緊張しながらもう一度楽譜を見直すなど到着までの50分間を有効に使いました。到着するとすぐに外でリハーサルに入りました。6月の終わりでもやはり炎天下の中のリハーサルはとってもきつかったです。そしてスタンバイ。気を抜く暇もなく最後もう一度思い出しながら本番に入りました。みんなとても緊張したようでしたが、厳しい練習にたえてきた成果が出て大成功に終わりました。いま、振り返ってみると譜読み、合奏、暗譜、パターンの暗記など本当に厳しかったです。この事を忘れずに、この経験を生かしがんばっていきます。

### 『発表を終えて』

早鞆高等学校顧問 磯部 瑞子

今年も総合開会式で、バトン3校は、紅白のポンポンをつかって合同演技を披露しました。こうした形の出演は、平素は各々の学校においては地域の行事に欠かせない存在として依頼を

受け、行事に華をそえ盛大に導くものとして地域社会に貢献しています。従って部活動は忙しいスケジュールになってしまいますが、部員は、行事への参加によって社会から直接に色々な事を学びとり、感激することも多くて、特殊なクラブとしての存在価値は、得ることも多いものです。バトントワーリングの発表には、こうした行事の開会式やパレードへの参加、即ちアクセサリートワーラーやチアガールとしての役割と、ステージやフロアでの発表でバトンテクニックや表現の価値を問われる芸術としての発表の、2つの場があります。山口県高校総文祭では、この両方の発表をさせていただき、生徒にとっては非常に充実感のある行事であったと思います。このバトントワーリング部門がますます発展することを希うと共に、年毎に進歩のあとが見えるように努力してゆきたいと思います。



早鞆高等学校

### 『総合文化祭を終えて』

三田尻女子高校顧問 友安 愛子

“愛は勝つ” “ジュリアン” のメロディーとともにエネルギーッシュな3校合同のオープニングが会場に花開き、若人の祭典が盛大に繰りひろげられました。各校とも、カラフルなコスチュームに身をつつみ、若さ一杯の笑顔が印象的で、生徒達の熱い息吹を感じさせられた一日でした。たくさんの人達の指導の手、多くの人達による音楽の輪を生徒とともに感謝しつつ、流した汗に清新な心を養い、技術の向上をめざすとともに、バトンの輪が広がってくれることを期待致しております。さあ!! 次回の祭典での出会いを楽しみに “Let's begin”



三田尻女子高等学校

### 『県総文に参加して』

宇部女子高校バトン部長 左本美佐緒

私達が選曲した曲は『学園天国』という明るく元気のいい曲で、今年は地元の高校生と合同バンドで演技することになりました。毎日の練習は送ってきたテープを使用し、何度も曲を聞きながら3年生全員でアイディアを出し合って踊りを作りました。本番でもテープと違って迫力のある演奏の元におもいきって演技をすることが出きました。演技が終わり観客の拍手を聞き安心しみんなほっとして笑顔が見られました。

# 日本音楽・吟詠剣詩舞部門

## 日本音楽部門

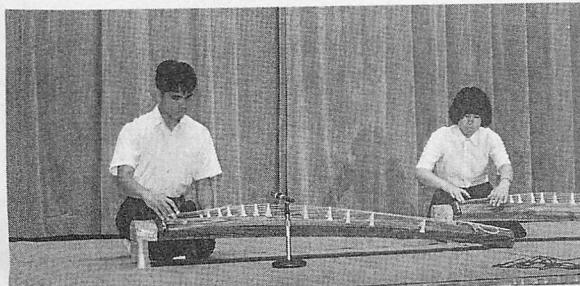
会場・中村女子高等学校

主管校 中野 靖子  
(中村女子高等学校)

今年度の山口県高等学校総合文化祭日本音楽部門は、吟詠部門と一緒に、歴史と文化の香り高い柳井から、山口市の中村女子高等学校講堂へ場所を移し開催されました。

昨年14校から今年は19校と参加校も増え、活気ある大会となりました。昨年に引き続き、山口県立盲学校、聾学校の皆さんとの連続出場は観客を魅了しました。

この大会は、日本音楽部門の顧問教師間にとつては、他校の演奏を生徒と一緒に鑑賞できる唯一の場であり、自分達の活動を発表できる場でもあります。高文連1号にも書いたと思いますが、日本音楽部門は文化活動の中でもあまり派手さではなく、部人数も少人数と各学校とも問題をかかえております。日本の古き良き伝統的文化である日本音楽に心を寄せる高校生を一人でも多く育てたいものだと思います。日本音楽のすばらしさを理解し、継承し、さらには高校生の皆さんの感性あふれる若さによって、発展向上にひと役買ひ、ひいては国際理解、親善に貢献できることを期待しております。各学校の発展をお祈りし、以下今年の演奏発表の一部を紹介します。



県立盲学校による合奏 光輝

光輝この曲は、3楽章からなる円舞曲で第1楽章は軽快で、光り輝く躍動感を表わし、第2楽章でゆっくりと物悲しい感じになり、第3楽章では、又明るく軽快な感じで、華やかにフィナーレになります。



徳山高等学校による合奏 こ手鞠

こ手鞠この曲は春先きの暖かい日ざしを受けて無心に手鞠遊びに興ずる乙女達の可憐な姿を箏の二重奏で表現したもの。表題のこ手鞠のように明るく、はずむようなりズムは軽快なテンポとともに、一つの魅力を作り上げています。

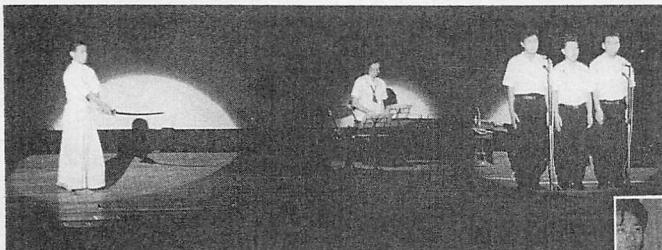
県総文祭に出場して

中村女子高等学校部長 松成 紀子

この文化祭に参加して、各学校の人達の合奏を聞けることを一番うれしく思いました。年に一回の大会、わずかな不安もありましたが、終えたあの感動はなんとも言えません。何の楽器にしてもそうだと思うのですが、練習をいくらしても、これで満足ということはありません。日々努力の積み重ねしかないのです。よし頑張ろうと思うその気持ちが大切と思うのです。韓国親善演奏会、全国大会等経験させて下さった関係の皆さんにお礼申し上げます。“琴を続けて良かった”これが実感です。

## 吟詠剣詩舞部門

会場・中村女子高等学校



構成吟「下関の歴史を詠う」 聖光高と下関工高



聖光高と下関工高の合唱

## 囲碁部門

会場・徳山高等学校

主管校 川崎長門（徳山高等学校）

平成3年度の囲碁部門第3回山口県大会兼全国高文連第4回大会県予選は平成3年10月27日(日)に徳山高校で12校83名の選手が参加して終日熱戦を繰り広げました。結果は男子団体戦優勝萩高校、2位山口高校、3位下関西高校、女子団体戦優勝厚狭高校、2位小野田高校、3位徳山高校、男子個人戦A組優勝山田豊(下関西)、2位三吉顕央(山口)、B組優勝貞政耕也(宇部工業)、2位今本武勝(宇部鴻城)、女子個人戦A組優勝三木京子(徳山)、2位武田涼子(光丘)、B組優勝三木夕子(徳山工業)、2位佐川寛奈(小野田)でした。B組はハンディ一戦ですので誰にでも優勝のチャンスがあります。

今年度の特徴は女子の参加者が増えたことです。喜ばしいことです。全国大会は平成4年1月19日(日)に東京の筑波大学附属駒場高校で25県の選手が参加して行われ、団体戦はありませんので、個人戦各組優勝の4選手が参加しました。成績は山田(下西)1勝3敗、貞政(宇部鴻城)

4敗、三木京子(徳山)3勝1敗第4位、三木夕子(徳山工業)2勝2敗でした。平成4年度の山口県大会は11月29日(日)に下関西高校で行われます。高文連ではまだ歴史の浅い囲碁部門ですが、大会の運営にあたられる先生方の熱心な御努力によって着実に前進を続けています。将来は生徒の皆さん自身の手で運営できれば、一番良いのではないかでしょうか。

囲碁は日本の伝統文化の中でも素晴らしいゲームです。最近は世界的に拡まってきて国際交流試合も盛んに行われています。若い人々の間になかなか普及しないのが残念ですが、ルールは簡単ですし、碁盤と碁石さえあれば、いつでもどこでも相手と手談を交わすことができ、また一人でも楽しんで強くなれます。一度覚えたらこれほど楽しい競技もないと思います。一人でも多くの若者に碁の楽しさを味わってもらつて友好の輪を拡げて行きたいものです。

# 展示関係部門

会場・宇部市文化会館

主管校 松田政道  
(宇部工業高等学校)

一昨年第12回県高校総合文化祭展示部門テーブルカットの末席に座わらせていただき、(来年引き受けの参考の為にと招待された)あまりの見事さに、驚嘆するとともに、安易に引き受けた自分の愚かさに腹立たしさを覚えた。①柳井地区の生徒会役員の動員 ②高校生による司会進行 ③高文連の歌の合唱・演奏 ④挨拶 いずれをとっても一糸の乱れもなく、指導された先生方のご苦労と、生徒の質の高さを痛感した。これを来年宇部でやれと……。

気を取りなおして、会場へ入ると、そこは美術館であった。床に敷かれたシート、工夫を凝らしたパネルの配置。体育館をよくぞここまで変身できたものだ。来年のことで胸が一杯になった。またもや不安が…。出来るであろうか。

実は、この時点ではまだ開催日時も会場も未定であった。

あくる日から早速会場探しとなつた。宇部市文化会館は、土日曜は市制70周年記念式典行事の為ほぼ予約されており、秋はもう入り込む見込みはないとの返事。絶望的となつたが、噂話として、常盤公園付近に多目的設備を備えた「湖水ホール」が出来るというのを聞き、市役所に喜び勇んで参上したが、完成日が未定との回答。もう先が真暗だ。再度、宇部市文化会館へ行き、一年で唯一空いている日を見つめた。「お盆は、係員も休みなんですが、何とかしてあげましょう」と、館長さんのおことばに、感謝感謝!! 日時は8月17~19日(16日は飾り付け。15日も作品搬入日として欲しかったのだが、お盆の真最中。そこまで無理は言えなかつた。)

そうこうしているうちに、柳井高校から、高

文祭で使用した書類、組織図、計画表、出張依頼、予算書など、莫大な量の資料が私の手許に届いた。整然とした綿密な資料にまたもやビックリ仰天。(しかし助かりました。感謝いたしました)

4月に入り、校内の組織を固めた。美・写・書の部顧問及び生徒会関係職員と、校長と教頭である。主管校として歩み出した。

5月には、宇部小野田地区の先生方と、各部門の理事長、前主管校、県教委文化課の総勢20名のスタッフを組織し、8月開催に向けてスタートした。会議の内容は以下のとおり。

- 美術・工芸、写真部門は、審査をし、優秀作品を選んでいるが、書道部門は如何という問題が投げかけられた。それに対し、書道部門も審査し優秀作品を選ぶことにするが、即全国総文出品作品ではない、と結論。これで全部門足並みがそろつた。優秀作品は各部門応募点数の10%とする。

- 出品目録は作るが、制作まで日数がないので、「題名」を省き、氏名学校名のみとする。掲示用名票には、題名氏名等自分で書いて提出。

- 賞状は、「優秀賞」と、「賞状」の2種類を作成する。

- 記念講演は、宇部短期大学教授 大東和人先生にお願いする。

- オープニングセレモニーは、宇部市内の高校の生徒会役員の協力を求める。

- 飾り付けは、部活動の生徒の動員により行う。

- 宣伝は、新聞社、テレビ局をはじめ、市内の全高校へチラシ(写真①)配布。市教委へ依

頼して、中学校への配布をする。

●講評会には、出品した生徒は勿論のこと、多数の参加があるよう文書で校長宛書類を発送する。以上を決めた。

先生方のご熱心なご協力のもとでスムースに準備が整い、アツという間に当日がやって来た。準備万端整えたつもりであったが、いくつか反省するところがあったので、ここに列記する。

●飾り付け、テープカットに携わった生徒諸君は素晴らしい働きをした。危惧する必要全くなし。紙面をお借りして、ありがとう。

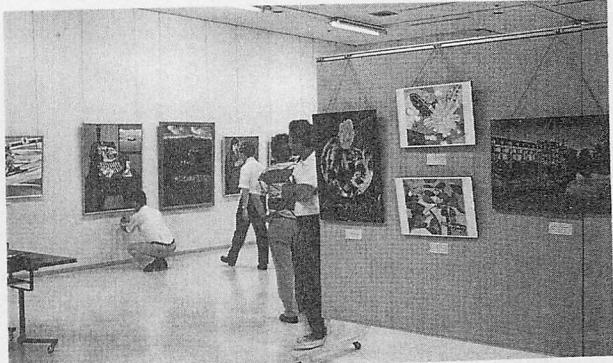
●開催日会場を数年間分決めておくこと。

- 審査する方法、審査員の決定の方法。
- 労力を使う割には、鑑賞者が少ない。
- 出品点数が近年伸び悩みである。
- 作品の類型化を打ち破って欲しい。
- 各部門のレベルの高さを更に高めてゆくには何が必要か。

おわりに

皆様方のご協力により盛大に無事終了することができました。深く感謝いたします。

第14回県高文祭展示部門は、宇部中央高校を主管校に、湖水ホールで開催されます。ご成功をお祈りします。



## 第13回 県高総文祭展示部門 出品作品数

学校名	美術	書道	写真	優秀賞
安下庄				
久賀				
岩国国	4			
岩陽	5	4	7	2
岩国商				
岩国工			7	1
坂上				
広瀬				
高森	5	3		
柳井	5		7	2
柳井商		1		
柳井工	5		2	
熊毛南	5	3		1
田布施農				
田布施工	2		4	
光丘		2		
光丘				
熊毛北		4	1	1
下松				
華陵				
下松工			4	
徳山	5	4		2
徳山北	3	4	6	
徳山商				
徳山工				
鹿野				
新南陽	3	4		1
南陽工				
佐波				
防府	5	4		1
防府西	3			1
防府商				
山口	6	2	4	3
山口中央	3	3		2
西京	4		1	3
山口農				
宇部	4	1	7	1
宇部中央	5	3		1
宇部西	5	3	7	2
宇部商	5	4		1
宇部工	1	4	6	2
小野田			7	
小野田工		4	7	3
厚狭	5	3		1
美祢	1	4		
大嶺	3			
美祢工			6	2
田部				

学校名	美術	書道	写真	優秀賞
西市				
豊浦	6			1
長府	5			
下関西			3	
下関南	5	4		1
下関第一			3	7
下関中央工				
下関工	5			
響				
豊北			4	3
日置農			4	
大津	5	3		1
水産				
萩				
萩商				
萩工				
徳佐				3
奈古				
下関商	3			
盲聲				
岩国養護				
田布施養護				
防府養護				
宇部養護				
下関養護				
高水	3	4		
柳井学園				
聖光				
桜ヶ丘			3	
三田尻女子		3		
多々良学園		4	2	
中村女子		5	4	
野田学園		4	4	1
山口県鴻城				
宇部鴻城				
宇部女子		5		1
美祢中央		5	4	
香川		5	4	1
サビエル				
下関				
梅光女学院				
早鞆				
下関女短付				
長門				
萩光塩学院		5	4	
のべ91校(実52)	37校	35校	19校	27校
計	370点	156点	118点	96点
				40校

優秀賞を各10%

## 美術・工芸部門

会場・宇部市文化会館

教諭 白岩 博

(宇部中央高等学校)

平成3年度、第13回山口県高等学校総合文化祭、美術・工芸部門は8月17日(土)～19日(月)に宇部市文化会館で行われた。

主管校は宇部工業高校で宇部、小野田地区の各高校が協力して運営、開催された。

今年は会場の都合で夏の開催となったために、各校とも準備(作品制作の)がたいへんだったようである。

昨年と大きくちがう点は厳正な審査があったことである。出品総数は156点(37校)で、その1割に優秀賞をつけた。このような厳正な審査をした理由は質的に高い作品が出品されるようにとの願いからである。

結果として油絵に入賞者が多く、デザイン、水彩、デッサンは少なかった。デザイン、水彩、デッサン出品者は来年度はぜひもう少しがんばってほしいと思う。

なお平成4年度全国総合文化祭への出品作は次の3生徒に決定した。

「先生」山口高校 2年 上坂美礼

「静物」山口中央高校 1年 横田文恵

「友人」西京高校 2年 坂根弓子

講評会は19日(月)12:30～13:50に行われた。

担当者は藤永正二先生(宇部西高)、杉本善行先生(香川高)、師井俊夫先生(山口高)、白岩博(宇部中央高)の4名で、各ジャンルのコーナーごとに受け持った。

以下、各コーナーの感想を担当の先生方の話を中心に記しておく。

### 〈油絵コーナー〉

- 大きい作品が少なかったので、壁面の落ちつきが悪かった。もう少し大きな作品

に取りくんではほしい。

- 密度があり、それなりにまじめに取り込んで描き込んでいた作品もかなりあったが、書き込み不足の作品も目についた。
- 人物画が少かった。特に身近な人物が、もっとほしかった。
- 西京高校の作品で、銅板のレリーフ状のものに着色したものがあったが、ユニークな作品であった。
- 油絵は長期間にわたって取りくまねばならないものなので、油絵に取りくむ前にエスキース(水彩等でのためし描き)をもっと、ちゃんとやる必要がある。そうすれば、画面のバランスもよくなり、的確な表現もできるようになると思う。

### 〈水彩・デッサンコーナー〉

- 受験用風な作品も見られたが、全体的にはもっと表現に広がりがある大らかな作品が欲しい。
- 水墨画の作品があったが、このように、いろいろな材料を使った作品がもっとふえるとよいと思う。

### 〈デザインコーナー〉

- 大きい作品もあったが、小さい作品が多くあった。
- イメージの発想力では、かなり展開した作品があった。
- 構成力では目をみはる作品もあったが、全体的には、まだまだいろいろと研究して欲しいと思う。
- 訴えたいことはあるのだが、技術不足のため、それがうまく表現できていない作品もあった。

- 色のグラデーションをうまく表現している作品があった。
- エアーブラシを効果的に使った作品があった。

#### 〈立体コーナー〉

- 柳井高3年3人の共同制作は廃品を使って構成した、現代美術風の作品で、新しい表現の可能性をめざして苦闘しているように見える。

講演会は19日14:00~15:00に行われた。

講師は宇部短期大学教授の大東和人先生が、「美意識について」(画論と美学)と題されて話された。

長年の活動に根ざされた、中味の濃い内容であり、生徒諸君の今後の活動に参考になるものであったと思う。

最後に、生徒がよく協力してくれたことに感謝したいと思う。作品の搬入・搬出作業、会場の受付等、責極的によく動き、気持よくやってくれた。

#### 第13回県高総文祭の記録

## 写真部門

会場・宇部市文化会館

主管校 東 光男  
(宇部工業高等学校)

#### 県総文について

第13回山口県高等学校総合文化祭において、写真部門では恒例により美術・工芸・書道部門と合同で、8月17日(土)から8月19日(月)まで宇部市文化会館で作品展示会を開催しました。

これに先立ち、5月10日(金)と6月26日(水)に主管校である宇部工業高等学校で展示関係の運営委員会が開かれ、本年度の開催要項等が検討されました。

その主なところを抜粋します。

#### 作品規定

ア 題材 自由(白黒・カラーいずれでも可)

イ 種類 単写真・組写真

ウ 作品の大きさ

(ア) 単写真 四つ切り~全紙(木製パネル貼り、又はマットパネル貼り)

(イ) 組写真 全紙の3枚分以内(木製パネル貼り、又はマットパネル貼り)

応募点数

- (1) 校内審査の上、優秀作品を出品すること。
- (2) 各校7点以内とする。

5月中旬に加盟各校に出品を募りましたが、最終的な出品校、点数は次のとおりでした。

岩陽、岩国工、柳井工、田布施工、熊毛北、下松工、徳山北、山口、西京、宇部、宇部西、宇部工、小野田、小野田工、美祢工、下関第一、豊北、徳佐高校の19校から96点。

全総文への出品については昨年度に準じ、本年度は外部審査員として専門家の近藤悦二氏(宇部市在住)にも加わっていただき、次の5点を来年度の沖縄大会へ出品することに決め、展示中の該当作品を表示しました。

※柳井高2年 弘津 聖也(飛っ子)

※宇部高2年 金山 淳一(60年前の乙女)

※宇部工1年 原田 洋一(蒸気機関車)

※小野田工1年 藤井 熊(熱・援)

※美祢工2年 笹見 弘信

(アフリカは広かった)

なお、これ以外にも優秀作品はありました。

3年生の場合は当年度で卒業いたしますので全総文への出品選考に関しては対象外として取り扱っています。

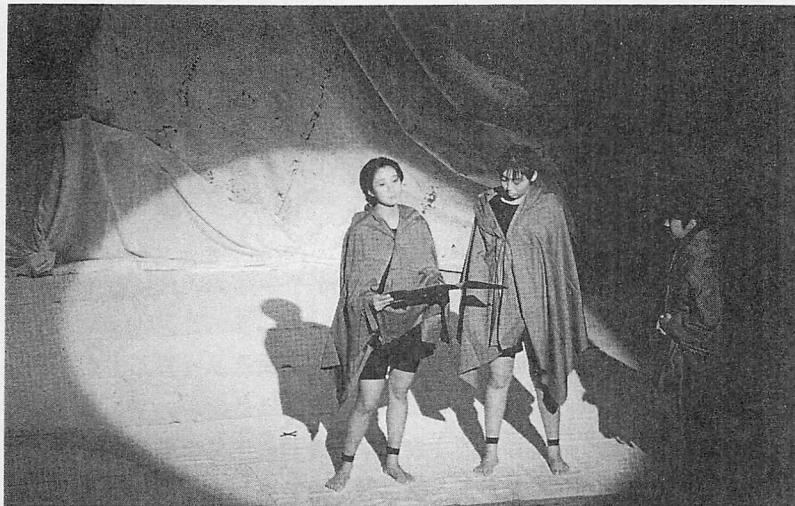
最終日に行われた講評会も近藤氏にお願いしました。多面的に御講評を賜り、生徒の技術向上等に参考になったと思います。

第13回県高総文祭の記録

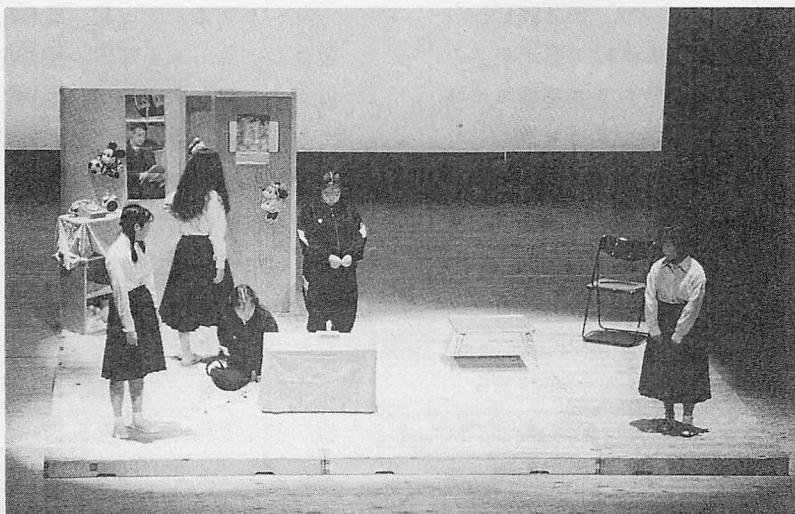
## 演劇部門

### 演劇部門

会場・岩国市民会館



防府高等学校



高森高等学校

# 第15回全国高等学校総合文化祭の記録

## 全国高等学校総合文化祭参加校一覧(山口県高文連)

### 第15回 香川大会 テーマ『青春の夢さんさん いま香川の空と海に』

部 門	高等学校名	出演人数	出品点数	備 考
パ レ ー ド	岩国工業	51		(マーチングバンド部門に参加)
	宇部女子	18		(バントワーリング部門に参加)
合 唱	宇部中央	30		「Esrientes implevit bonis」「花野」(「遙かな歩み」より)
吹 奏 楽	下関西	74		歌劇「サロメ」より「七つのヴェールの踊り」
器楽・管弦楽	岩国	50		「セビリアの理髪師」
マーチングバンド	岩国工業	51		「グリーン・スリーブズ」
バントワーリング	宇部女子	18		「スターライトエクスプレス」
日本音楽	中村女子	7		「面影」
吟詠・剣詩舞	下関工業	4		
	聖光	6		構成吟「下関の歴史を詠う」
美術・工芸	大嶺	0	1	油彩「石膏像のある静物」
	柳井	1	1	油彩「境内」
	萩工業	1	1	油彩「人間達」
	西京	1	1	彫塑「友人頭像」
	宇部女子	1	1	デザイン「南方守護」
書道	宇部中央	1	1	臨書「吳昌碩」
	野田	1	1	臨書「蘭亭序」
	山口中央	1	1	臨書「十七帖」
写真	岩陽	1	1	全紙「神社にて」
	岩国工業	1	1	全紙「騎馬戦」
	柳井	1	1	全紙「文化祭」
	田布施工業	1	1	半切「背に風をうけて」
	三田尻女子	0	1	全紙「熱戦」
生活デザイン	厚狭	0	2	テーブルセンター「野の秋」 タペストリー「春の山口」
合 計	17校(延べ24校)	実人員251	15点	

### 第16回 沖縄大会 テーマ『おこそう 文化的波 マリンロードに のせて』

部 門	高等学校名	参加生徒	出品点数	備 考 (演奏曲目・作品等)
(パレード)	(三田尻女子)	(21)		バントワーリング部門に参加
合 唱	野田学園	65		混声「O quam gloriosum est regnum」「方舟」
吹 奏 楽	防府西	45		チャイコフスキ「交響曲第4番終楽章」「ユーミンポートレート」
器楽・管弦楽	防府	78		ワグナー「ニュールンベルクのマイスター・シングル前奏曲」他
マーチングバンド・バントワーリング	佐波	35		「フレッシュ ウインズ'92」より
	三田尻女子	21		(総合開会式に県代表1名出席)
日本音楽	萩	10		「祭花二番」
吟詠・剣詩舞	下関工業	2		
	聖光	2		(合同出演)
	中村女子	1		構成吟「西の京 山口」
美術・工芸	山口	1	1	油絵「先生」F40 上坂 美礼(3)
	山口中央	1	1	油絵「静物」F50 横田 文恵(2)
	西京	1	1	彫塑「友人像」B1 坂根 弓子(3)
書道	防府	1	1	創作「発願」(縦)166×88 上条 真(3)
	宇部西	1	1	創作「松陰先生の言葉」 三隅まゆこ(2)
	厚狭	0	1	臨書「臨賀捷表」(縦)135×35 熊高 直美(3)
写真	香川	1	1	創作「山上憶良の歌」(縦)163×83 倉田 幸枝(3)
	柳井	1	1	「飛しつこ」単白黒(縦)53×(横)64 弘津 聖也(3)
	美祢工業	1	1	「アフリカは広かった…」単白黒 笹見弘信治(3)
	小野田工業	1	1	「熱・援」組カラ一 藤井 煦(2)
	宇部	0	1	「母と娘」単白黒(縦)43×(横)54 金山 淳一(3)
合 計	19校(延べ21校)	268名	11点	

高文連事務局 中邑・立夫

“青春の夢さんさん いま香川の空と海に”をテーマに、第15回全国高等学校総合文化祭は、8月1日から4日まで4日間、香川県高松市の県民ホールを中心に、坂出市、丸亀市等の11会場で約1万5000人が集い、盛大に開催された。

総合開会式では、讃岐特産のサヌカイトという石を使った演奏、「弘法大師・空海」をテーマとした舞台、海外からは、中国（西安市）、

スペイン（サンセバスチャン市）、インドネシア（バンドン市）のお国柄を感じさせる民族的な踊りが披露され喝采をあびた。

山口県から別表のとおり、10部門251名が参加。特別参加の県立厚狭高校（生活デザイン部門）を含め、ステージや展示に日頃の活動成果を十分に発揮した。

以下各部門からの報告である。



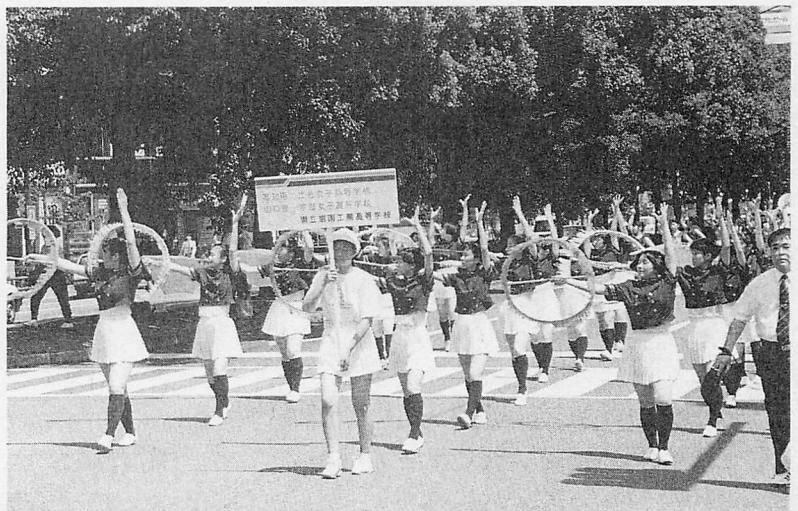
第15回全国高等学校総合文化祭 総合開会式



海外からの参加



特別参加の生活デザイン部門



パレード 高松市街

# 器楽・管弦楽部門

会場・香川県県民ホール

教諭 松前 浩久

(岩国高等学校)



全国高総文祭 器楽・管弦楽部門 岩国高等学校

## 全総文香川大会に参加して

高等学校の部活動は、どこの学校も、運動部にくらべ文化部の活動が低調な気がする。わが岩国高校でも、御多分に漏れないところである。その原因の一つに、小生のような素人が顧問をしていることもあるのかもしれない。高校・大学と7年間マンドリンをやり、新任の頃には「やろう」という気持ちもあったが、本校に着任するまでに、14年間音楽から離れていた。そこで生徒達自らが研究し活動するのも、一つの部のあり方だと思うことにして、もっぱら音楽以外のことだけに口をだすことをしている。そうすると、縦横のつながりが親密になり、人間的な成長には、プラスになっているのだと、勝手に思っている。そんな我がプレクトラム・アンサンブル部にとって、全国大会出場は、技術的な

ことはもちろんあらゆる面で有意義だったと思っている。その証として、生徒の感想を紹介したい。

他県の高校生の演奏を聴くのは初めてで、わくわくしていました。でも聴いたときには、ものすごくショックでした。私はそれまで、『このくらいできればいいや』と思っていた。でもそれは甘かったのです。他校の演奏を聴けば聴くほど、自分達が情けなくなつたけど、とてもいい経験だったと思います。自分達の実力がはっきりわかりました。目標も持てました。これからはもっとうまくなれるように頑張りたいと思います。

「ことしの夏は香川に行く。それも2泊3日で！」ほとんど旅行気分で、しかも観光気分で

楽しみにしていました。瀬戸大橋はきれいだつたし、遊覧船は気分そうかいだったし、旅館に着いてからは、こんぴらさんに演奏の成功を祈りお参りして、のんびりとかまえていました。次の日、行ってビックリ、聴いてビックリ、どこの学校もうまい・うまい！本当にこんな所で演奏してもいいのかな、と妙に腰が低くなってしまいビビッていると、さらに輪をかけて「プロの人からの講評もあるんだってー」と聞いた時には目の前真っ暗。でも、練習も頑張ってきたし、大丈夫だろう。と強気になり、舞台に出ました。弾き終り、ハラハラしながら講評を聞き、記念撮影をすますと、無事にすんとよかったです。

全国総合文化祭に出ることになり、とても嬉しかった。それは思った通り、よい経験になつたし、高校生活の1つの思い出にもなったと思う。総文に出るために、受験勉強に忙しい3年生も毎日出てきて、熱の入った練習をしました。3年生にとっては本当に大変なことだったろう

と思う。

バスで高松まで行き、2日目に演奏をした。他校の演奏を聴いて、少し不安になった。山口では、マンドリン合奏を聴く機会がほとんどないので、他校の演奏を聴いたことで、とても刺激され、良い経験になったと思う。自分達の演奏のほうも、あまり緊張せず、練習の成果が發揮でき、良かったと思う。帰りのバスの中でみんなで自分達の演奏の録音テープを聴いた。

最後に、高校総文は私にとって、本当に良い経験だった。また、引退された3年生の先輩やその他の部員が、まとまり、演奏が成功したことを嬉しく思っている。

言い訳で、入試につながらない教科は、いいかげんにしかしない現在の高校生達に、人間として大切なものを育てる「芸術」がもっともっと大切にされ、多くの生徒達が親しむことができるような環境が広がることを望みたい。そういう意味からも、この大会が甲子園大会と同じように大切にされ、多くの学校の生徒達が、こんな大会に出場出来ることを期待する。

#### 第15回全国高総文祭の記録

## 合唱部門

会場・香川県県民ホール

教諭 中島有子  
(宇部中央高等学校)

太陽を背負っているのではないか、と思うほど太陽を身近かに感じる暑くて重い夏。これが私の全身で感じた香川県高松市の8月の姿です。私たちは今年、当地で行われた全国高等学校総合文化祭に念願叶って出場することができました。

合唱部門の大会前夜、全国各地の高校生が交流会に参加し、各々の学校紹介やグループに分かれてゲームなどをして親睦を深めました。初めは聞き慣れない訛や見知らぬ場所での事なので、後ずさりをしてしまい消極的になっていま

したが、周りの雰囲気はそれとは全く反し、積極的に話しかけられました。こうして、和気あいあいとしたムードに包まれたまま交流会の幕を閉じました。

大会当日では様々な学校の素晴らしい点を学ぶことができました。特に沖縄県の合同合唱は大変迫力があり、目を見張るものがありました。普段20数人で合唱をしている私にとっては、とても美しいことでした。彼らの目は皆、指揮者ではなく遠い未来を見つめるようで、また、沖縄のギラギラと照りつく太陽を思わせるようで



全国高総文祭 合唱部門 宇部中央高等学校

もありました。これはきっと彼等の心に夢を咲かせている証拠であるとも言えるでしょう。心からのリズム、心からの歌、聞いているこちらまでが歌っているような気持ちにさせられるほどでした。

合同合唱とは逆に少人数ではあるけれども、大変美しい歌声を聞かせてくれた学校もありました。一人一人の声がホール中に鳴り響き、どの学校にも劣らないような大合唱は、私たちにとっても大きな刺激を与え、そして多くの人々の胸に感動を呼び起しました。やはり胸を打つ歌には顔の豊かな表情が付きものなのでしょうか。この合唱団も、先程の合唱団と同様に目の輝きが印象的でした。また、透明感のあるふれる声質が、女声合唱の特有であるエレガントさを

よりひきたてていて、それが曲と上手くマッチしていました。

この大会に参加したことによって、全国の高校生が向上心を持って、熱心に取り組んでいるのを知ることができ、私たち合唱部も一まわり二まわり、大きくなったような気がします。どの団体の歌も胸をうつものばかりで、ステージから目の離せない1日となって、高校生活の良い思い出ができました。そして、改めて合唱の素晴らしさを確認することができ、この大会に出場できたことを、大変うれしく思います。

最後に、このような機会を与えて下さった方々、大会の準備にあたって下さった方々、そしていろいろとお世話して下さった方々、本当にどうもありがとうございました。

# 吹奏楽部門

会場・香川県県民ホール

教諭 三好五郎

(下関西高等学校)



全国高総文祭 吹奏楽部門 下関西高等学校

去る8月4日(日)に四国の香川県県民ホールでおこなわれました第15回全国高等学校総合文化祭・吹奏楽部門に参加させていただきました。

我々総勢75名は前日早朝よりバス2台を連ねて下関を出発し中国自動車道・瀬戸大橋を通って約8時間の道中でしたが、その間生徒等との会話や歌などで快適に過ごし、夕方高松駅近くの旅館に入りました。高松では時を同じくして大学ソフトボール選手権が行なわれていて、私達と同じ旅館に泊まっていた大学生等が勝ち残ってもう1泊するらしく、本校は止む終えず分宿となると言われ大変戸惑いました。夕食後私は顧問会議のため一足先に会場に向いました。会場の香川県県民ホールは高松駅のすぐ近くの玉藻公園(高松城跡)続きにあり、大変立派な総合ホール(残念ながら本県にはない大規模なもの)でした。この立派なホールで明日演奏するのかと思うと胸の高鳴を感じずにはいられませんでした。生徒達も夕方からの交流会で会場

に行きそのすばらしさに感動し、又全国から集まった高校生と交歓し、心暖まる地元の高校生等の大歓迎ぶりにとても満足したようでした。そんなふうで明日の演奏をすばらしいものにと誓いあって休んだのですが、夜遅くまで騒ぐ大学生等には、なかなか寝つかせてもらえませんでした。いよいよ当日高松東高校でのリハーサルを終え、参加県39県中16番目に演奏をしました。曲目はリヒャルト・シュトラウス作曲歌劇「サロメ」より7つのヴェールの踊り。コンクールとは一味違う雰囲気の中でのびのびと演奏いたしました。今年より10分と例年より演奏時間の短縮でほとんどの学校がコンクールの自由曲らしき演奏でした。演奏終了後、緞帳の前へ全員整列をして講師の先生から講評をいただきました。

講師の先生には、兼田敏・塚田靖先生が交替であたられ、中でも兼田先生は大変な毒舌で各校ともさんざんに言わされた学校が多かったので



下関西高等学校吹奏楽部

ですが、本校は何とかまともなお話でした。又、お客様の反応もあり演奏が終わるやいなや盛大な拍手をいただきとてもうれしく思いました。それに聞きに来られていた県高文連会長の繁富健治（山口中央高等学校長）先生等からもお褒めの言葉をいただき恐縮すると共に安堵いたしました。それに、昼食時には、午前中に本校と同じ曲を演奏していた福岡県立新宮高等学校の

大津先生とそこのトレーナーをされておられる方がわざわざ昼食会場まで私達を尋ねて来られ、様々なお話をし交流できたことは幸せでした。その後他校の演奏を鑑賞し、色々と勉強になりました。ただ残念なことに、お客様が午後からだんだん少なくなって来ました。

その日の夕食には名物の讃岐うどんの鍋をお腹いっぱいいただいて、思い残すことなく最後の夜を過ごしました。次の日帰りに栗林公園を見学し、雄大な瀬戸大橋を通って一路下関を目指し、一人の病人もださずに夕方無事に到着いたしました。転勤して数か月で何かと戸惑いの多いなか何とか無事に終えられたのも、多くの先生方や生徒等の熱意に支えられてのことでした。心より感謝いたします。私達に貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。この紙面を借りてお礼申し上げます。

#### 第15回全国高文祭の記録

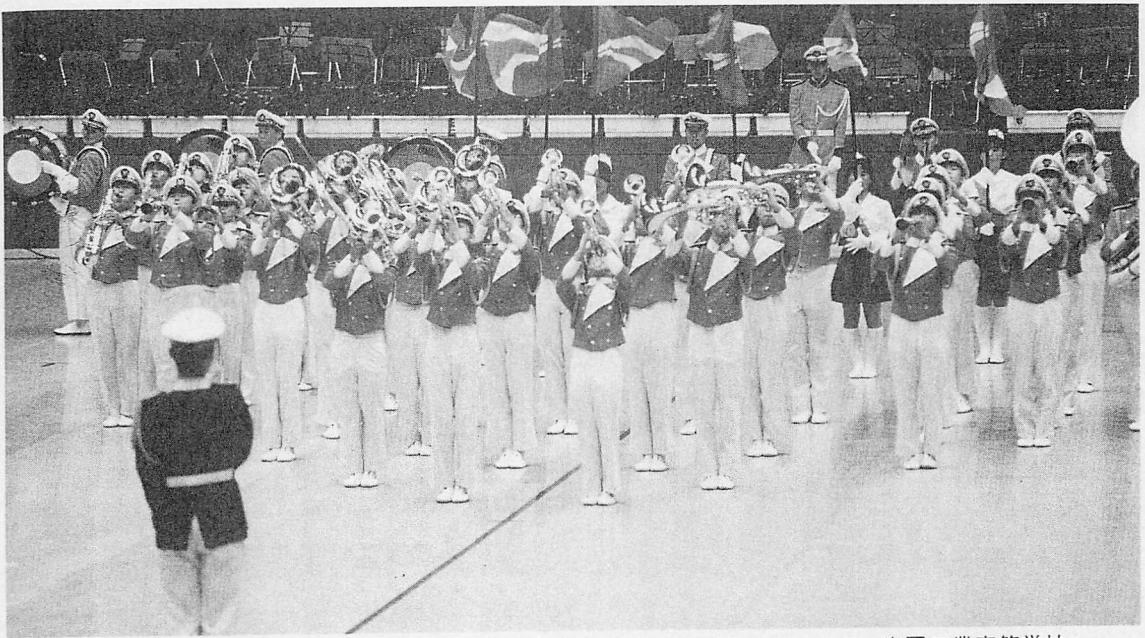
## マーチングバンド・バトントワーリング部門

会場・高松市総合体育館

教諭 花 村 慶 照  
(宇部女子高等学校)

今年度の全国高等学校総合文化祭(香川大会)には、県立岩国工業高等学校の吹奏楽部と宇部女子高等学校のバトントワーリング部のパレード部門とマーチングバンド、バトントワーリング部門に参加しました。日程は次の通りです。8月1日(木)10:00~12:00の間で高松市街地約1.4kmの距離でパレードが行なわれ、全国から約48校(チーム)の参加がありました。当日は快晴で夏の太陽がサンサンとそそぐ中、山口県はAブロックの4番目に参加し、岩国工業高等学校の演奏のもとに宇部女子高等学校と高知県の土佐女子高等学校の2校のバトントワラーが演技を行ないました。岩国工業高等学校と土佐女子高等学校との事前の打合わせがまったくなく

本番前に初めて顔を合わせる状態でタイミングがなかなか合わない事があり、以後の反省として、県外の学校と合同で行なう時はぜひ事前の打合わせが必要であることを痛感しました。8月2日(金)10:00~16:30の間、高松市総合体育館でマーチングバンド、バトントワーリング部門が行なわれ、全国から42チームの参加がありました。宇部女子高等学校は3番目に岩国工業高等学校は10番目に出場しました。バトントワーリングに出場した宇部女子高等学校は「スターライト・エクスプレス」の曲にのり18名の生徒の演技は生き生きしており観客から多くの拍手を受けました。マーチングバンドに出場した、岩国工業高等学校は、グリーン・スリーブ



全国高総文祭 マーチングバンド 岩国工業高等学校

ス等の軽快な曲にのり58名の生徒1人ひとりの演技は初出場とは思えぬものがあり、これも日頃の練習の成果が出たものと思います。今回出場した2校とも実力が十分発揮でき、今後の活動に大変役立つものになったと思います。

#### 全国高校総文に参加して

岩国工業高等学校吹奏楽部顧問 川村富久男

わが校の全総文参加者は、全部員と引率2人、合わせて60名とバス旅行としてはなんとも中途半端な数で、1台では乗れないが2台では余る。結局大型1台とマイクロバス1台に分乗し、7月31日昼過ぎに岩国を出発した。道中は快適で、瀬戸大橋を渡る少し前に車窓からチラッと見えた児島の町に半年前に引率したアンサンブルコンテスト中国大会を思いだしなつかしかった。初めて見る瀬戸大橋もすばらしく、やはり天草五橋や関門大橋よりスケールが大きいなあと思った。8月1日市中パレード、2日フロアドリルと日程をこなした訳だが、本番の出来はともかく生徒達にはもっと団体行動の基本、とくに時間厳守を指導せにやいかんなあと思った。しかし一生懸命にはやっていたようだしまあこんなもんだろう。今回の行程は天気にも恵まれ、

途中いろいろあったが全員無事かえってきたし、終わりよければすべてよし。

#### 全総文の想いで

岩国工業高等学校

化学工業科2年 佐藤 朋子

8月1日から3日、全国高等学校総合文化祭が四国の高松市で行なわれ、私達岩国工業は、マーチングバンド、バトントワーリング部門のマーチングバンドとして出場しました。練習はとてもきつくて、夏休みに入ってからの合宿は、夜中の3時まですることもありました。野球部の応援そしてマーチングとして両立させてがんばってきました。譜読み、合奏、暗譜、パターンの暗記など本当に厳しかったです。1日目は開会式後市中パレードを行いました。とても暑い中きつかったですけど「見物客が感動してくれたので、とてもよいものになりました。2日目のマーチングは、失敗しないか、とても不安でした。でも演技が終った時初めて不安がいつのまにか、感動にかわっていました。いままでつらくて大変だった練習も一生懸命やってきて本当によかったです。皆んなでやったことはとてもいい想い出になりました。

全国高等学校総合文化祭に参加して

宇部女子高等学校バトン部 左本美佐緒

私達宇部女子高等学校バントワーリング部は山口県の代表として香川大会に出場しました。出場がきまと毎日厳しい練習が続きました。演技が完成すると、今度は一つひとつの技を磨き、踊りこみを繰り返し練習しました。そして私達の演技力が全国レベルに達しているか心配

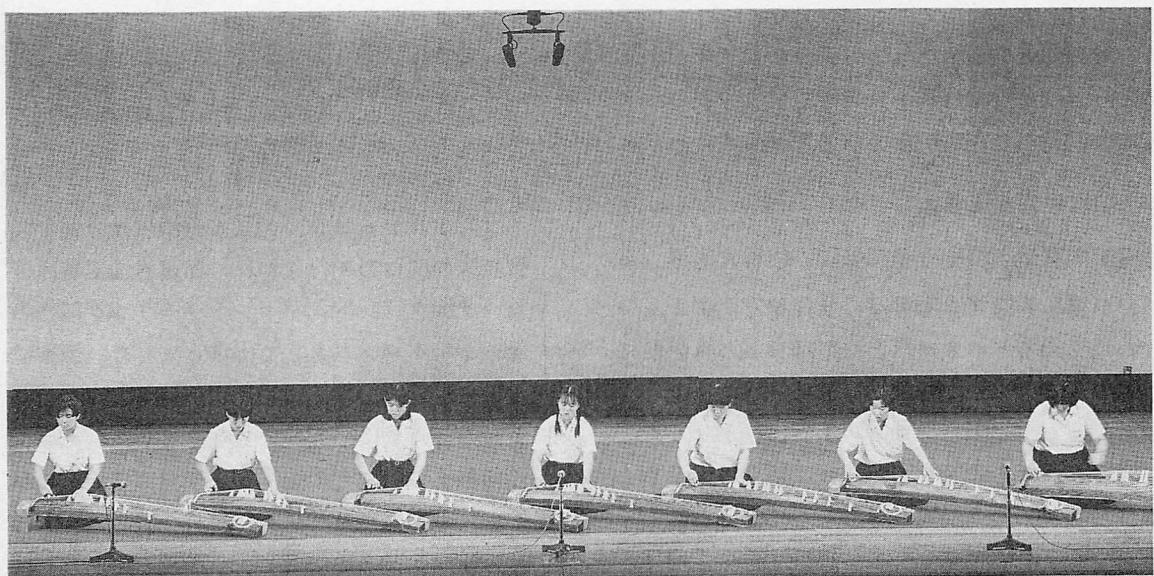
でした。大会中は大変暑い日が続きましたが、パレード、フロアドリルの時にも多数の観客の中で行なったため、かなり緊張感の連続でしたが客席から拍手が響きわたった時「あつ終つたんだな」と思い満足感でいっぱいでした。この感激は一生忘れることのない想い出として心に残ることでしょう。

第15回全国高総文祭の記録

## 日本音楽部門

会場・高松市市民会館ホール

出場校 中野靖子  
(中村女子高等学校)



全国高総文祭 日本音楽部門 中村女子高等学校

高校生の文化の祭典「第15回全国高等学校総合文化祭は、「青春の夢さんさん いま香川の空と海に」の大会スローガンのもと、香川県で盛大に開催されました。日本音楽部門は古くから瀬戸内の交通の要衝として、香り高い文化を築き上げてきた、高松市の、市民会館大ホールで8月2日開催されました。

この大会には、全国から35県・70校・838名の

参加があり、9時間にも及ぶ演奏でした。

本県の出演は、プログラム44番で、かなり長く待たされての出番でしたが、総員7名と全部で一番の少人数にもかかわらず、唯一の歌の入った演奏で観客を魅了しました。高文連事務局長の斎藤先生も応援にかけつけてくださいり、意を強くしたところです。

審査委員長でもあり、作曲家の三木 稔先生

の講評を後、掲載しますが、ほんとうに、心和むひとときありました。最優秀校3校は、昨年度より国立劇場で発表することになっていますが、惜しくも、それには残ることができませんでした。

来年度第16回は、沖縄で開催されます。山口県代表に萩高等学校がすでに決定しております。研鑽され、悔いの残らない演奏を期待しております。

「面影」 講評 三木 稔先生

大正を思わせる少女趣味の曲ですが、弾き歌いで、ほんとうにホットしました。

特に中央で歌ったあなた。今日の9時間の演奏であなただけです。客席に正対して訴えたのは。その面影は忘れ難いものです。(原文のまま)

全国大会で学んだこと

中村女子高校3年 一ノ瀬和枝

山口県代表になった時は、四国高松でひけると言う嬉しい気持ちが強かったのですが、大会が近づくにつれ、毎日の早朝練習、遅くまでの練習と勉強、琴との両立で苦しんだこともありました。先生や部員の励ましにどれだけ勇気づけられたことでしょう。これだけ練習しているんだからと言う安易な気持ちは打ち砕かれてしました。全国レベルの何と高いことか。うまくひけるということは、たんにひき終えたというのではないのです。感情移入がどれだけできているか、弦のおさえの難しさ等いろいろ勉強できたことは大変勉強になりました。

第15回全国高総文祭の記録

## 吟詠剣詩舞部門

会場・高松市民会館大ホール

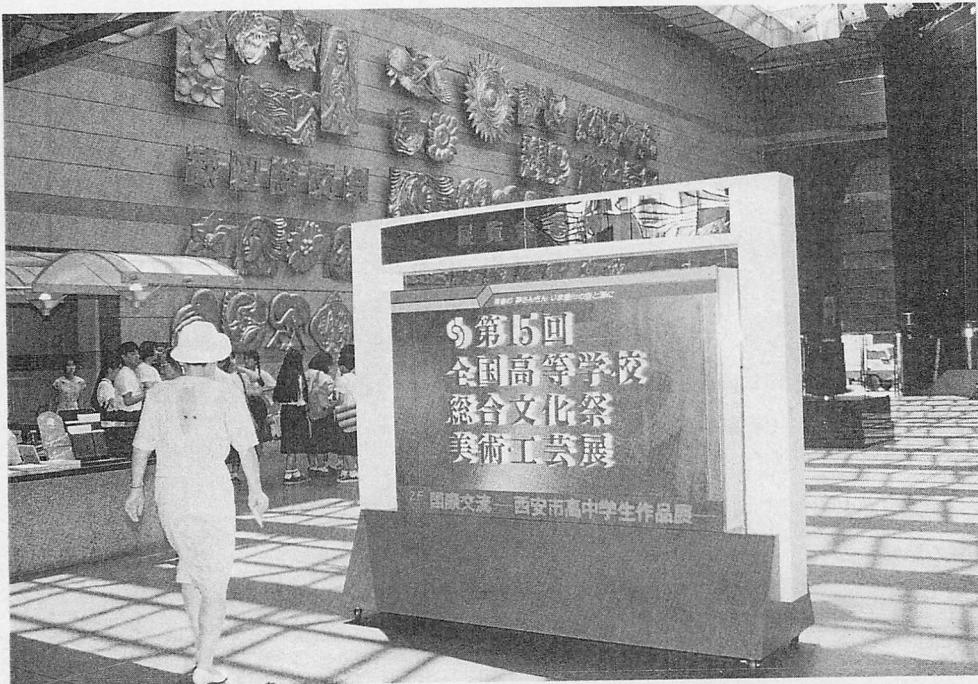


構成吟「下関の歴史を詠う」 聖光高等学校



# 美術・工芸部門

会場・高松市美術館



香川県の高校生の作った正面を飾るレリーフ 高松市美術館

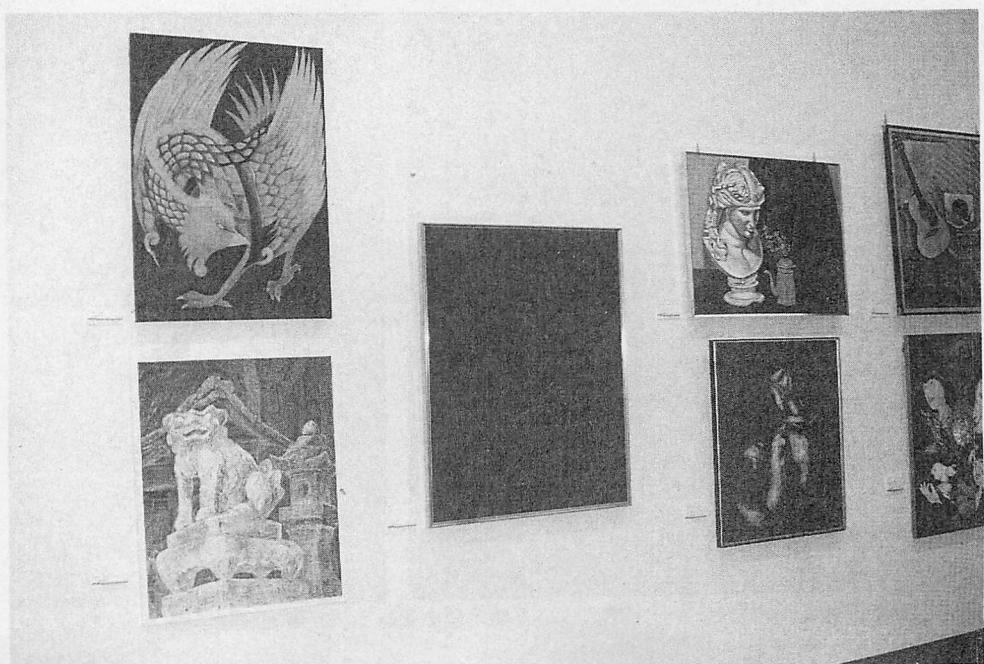
山口県のコーナー

(左上)宇部女子高等学校の作品

(左下)柳井高等学校の作品

(中央)萩工業高等学校の作品

(右上)大嶺高等学校の作品



## 写真部門

会場・坂出市民美術館



坂出市民美術館

出品された山口県のコーナー

(中央上) 岩陽高等学校の作品

(右上) 田布施工業高等学校の作品

(左下) 柳井高等学校の作品

(中央下) 岩国工業高等学校の作品

(右下) 三田尻女子高等学校の作品



優秀作品として選ばれた岩国工業高等学校 佐伯君の作品（下段中央）

# 書道部門

会場・香川県文化会館

宇部中央高等学校 講師 豊田 文代  
さすがに香川県人の作品展、空海の書を臨書した作品をずらり集中展示。屋外にも郷土色豊かな大作が8点。折角の力作も会場が狭くて作品が生かされていないのが残念。

文化祭出品が決まり、さあ「何を書こう」ということになった。新しいものを書いてみたいという彼女の意志から、迫力のある興昌碩の書を選んだ。迫力ある作品をテーマに、まず力感のバランスを考えました。墨量、墨の濃度、大きさ、筆圧、速度、弾力、捻り、以上の要素の組み立てにより力の表現に、多彩な変化を表現することが出来る。これが作品製作について一番重要な点です。あれこれ法帖を出しては、試行錯誤をしていましたが、〆切1週間前によく納得した作品が出来たようです。

さあ私の作品は、全国レベルに通用するかと心中穩やかではなかったようです。

全国各県の生徒一人一人の情熱が、作品からじみ出て、意匠的に構成的に表現的に一段と進歩を感じさせる作品ばかりでした。

## 全高総文祭に出品して

山口中央高等学校 中能久仁子

高校2年の春に書道同好会に入部して2年目。それまで書道は、授業でしか習った事がなく、部活動は、私にとって新鮮な世界でした。

そんな私に5月、8月に香川県で開かれる、「全国高等学校総合文化祭」にピンチヒッターとして出品しては、という思いもかけない話が舞い込んできました。初め、3年生でもあり、書も下手である事を自覚していたので、正直言つて迷いましたが、思いきって出品する事にしました。それからは放課後、遅くまで学校に残つ

て、練習、練習の毎日でした。時間のないといういらだちと、県代表として出品する事へのプレッシャーとで、中々思うようにはかどらず、出来上がった作品は、決して満足のゆくものではありませんでした。

8月、香川で見た全国の高校生の作品は、全体を使った、伸々とした力強さのあるものが多く、それに比べて私の作品は、手先だけの縮こまつたもので、形にのみとらわれていると、つくづく思いました。やはり、一つの作品を仕上げるには、ただ文字を書くのではなく、上手・下手にかかわらず、その作品をどうとらえ、それをどう自分のものにし、それをいかに伸々と表現できるかが大切な事である、と今回改めて実感しました。

高校生最後の夏に、このような良い機会を与えて下さった先生方に、今とても感謝しています。ありがとうございました。

## 高総文に参加して

野田学園高等学校 2年 高橋 和樹

第15回全国高等学校総合文化祭の書道の部に出品するとともに、全国各地の高校生の書を鑑賞する機会を与えられ、大変勉強になりました。

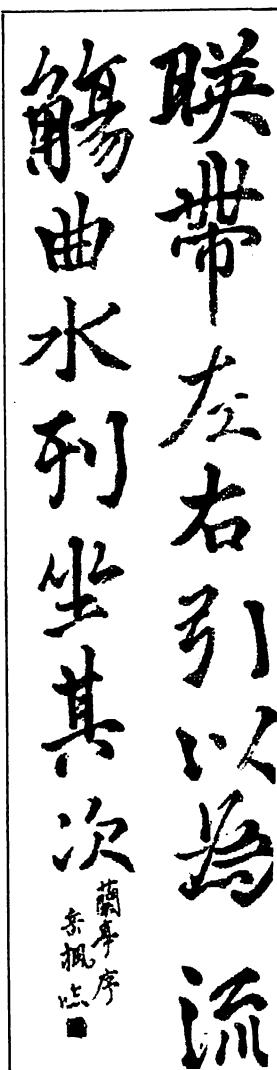
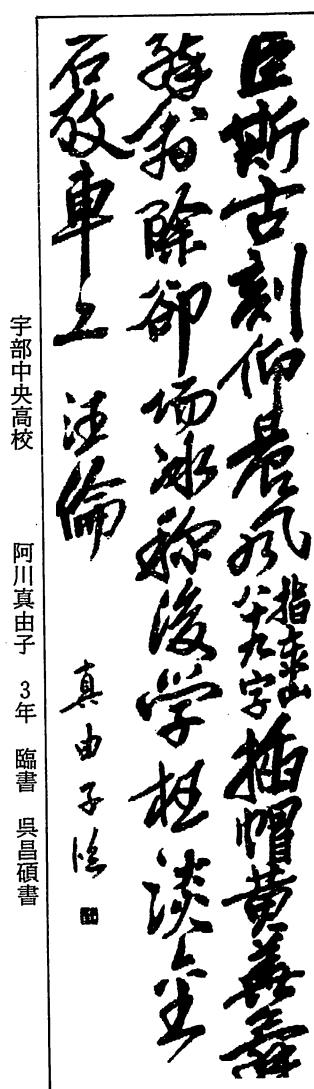
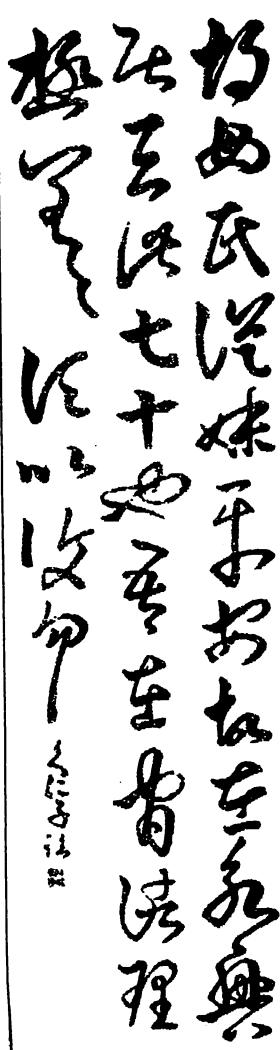
展示されていた作品はどれも自分と同じ高校生の作とは思えない程素晴らしい、同じ会場に展示されていた自分の作品が何か見劣りするような感じさせました。もちろん自分に出品できた嬉しさ、誇りのようなものがなかったわけではありませんが、上には上があるものだと、「井の中の蛙」のような心境になりました。しかし、作品を見る事は自分にとって大いに刺激になりました。また会場も素晴らしいだったので一層心に残る文化祭だったと思います。

この度の出品は、今までの自分の書に対する考え方を改めて考えなおす切っ掛けとなり、更に自分の腕を磨いていこうという気持ちも溢れてくれました。今後も、大いに精進していきたいと思います。

高校総文に参加して

宇部中央高等学校 3年 阿川真由子

今年、香川県で行われた全国高等学校総合文化祭に、私は書道部門で参加させて頂いたわけですが、今回の文化祭で、私は自分が今まで磨き上げてきた技術を、全国レベルで評価することが出来たと同時に、あらゆる分野での高校生の熱心な文化活動への取り組みと、惜しみない努力を、改めて認識することができ、自分が文化活動を行う上で大変貴重な経験が出来たと思います。



## 山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧

学校／事業	ピアノ	マリンバ	フルート	交響楽団	演劇	金管合奏	学校／事業	ピアノ	マリンバ	フルート	交響楽団	演奏	金管合奏
安下庄	63			※			長府						平1
久賀	63			平3			下関西						
岩国						平1	下関南						
岩陽						平1	下関第一						
岩国商業			平3		62		下関中央工業						
坂上				平2			下関工業	62				平2	
広瀬			63		平3		響				平1		
高森		63					豊北	62			平3		
柳井			平2				日置農業	63				平2	
柳井商業							大津	63					
柳井工業					平1		水産						
熊毛南	63						萩	63			平3		
田布施農業				平3			萩商業	63				平2	
田布施工業							萩工業					※	
光	63						徳佐		63	63			
光丘							奈古				平1		
熊毛南				平2	63		盲	63	平3			平1	
下松	63						垂						
華陵	63				平1		岩国養護		平3				
下松工業				平1			田布施養護				62		
徳山	※						徳山養護			平1			
徳山北		63		※			防府養護	62	平3	63			
徳山商業			63		平3		宇部養護		63		平1		
徳山工業						※ 平1	下関養護		平2				
鹿野		平3			平1		萩養護						
新南陽	63						下関商業						
南陽工業			平1	62			高水				62		
佐波			-	63			柳井学園					63	
防府							聖光				平2		
防府西							山口県桜ヶ丘						
防府商業		63					三田尻女子						
山口		62					日々良学園						
山口中央	63						中村女子	63			平2		
西京	62			※			野田学園	63					
山口農業							山口県鴻城						
宇部	63						宇部鴻城						
宇部中央			平1			63	宇部女子						
宇部西							美祢中央						
宇部商業				63	62	平3	香川				平1		
宇部工業	※		平2				ザビエル						
小野田	63						早納						
小野田工業		63					下關女子短期大学附属	62.63	※				
厚狭				※	平2		長門						
美祢							萩光塩学院						
大嶺	62	※											
美祢工業													
田部													
西部													
豊浦													

(注) ピアノ……弘中 孝  
マリンバ……水野与旨久  
フルート……西田直孝トリオ

交響楽団……山口県交響楽団  
演劇……のんた・宇部芸術座・海峡座  
金管合奏……東京金管五重奏団

62～63……実施年度  
※印……平成4年度実施予定

# 自主事業報告

## 山響 in 久賀

久賀高等学校3年 中本 次郎  
ビバルディ作曲の“四季「春」第1楽章”みんなにもおなじみのメロディーで、山口交響楽団の演奏会が幕を開けました。僕自身、吹奏楽に籍を置き、夏に引退するまで、トランペットやチューバを吹いていました。ですから今回の山響の演奏会は、以前からとても楽しみにしていました。

今回演奏された曲目は、どれもどこかで聞いたような曲や耳慣れた曲ばかりです。テレビのコマーシャルや日常の生活の中で、クラシック音楽はずいぶん流れているものです。ですから親しみがわき、いつの間にかどんどん引き込まれていきました。

楽器紹介のコーナーでは、軽妙な司会に合わせて、次々と楽器の特徴・音色が紹介されていました。普段ではなかなか一つ一つの楽器の音色を聞く機会がありません。全体で演奏するものとは違う良さが、皆さん僕にも分かりました。そして各楽器と名前が一致したことによかったです。

またこの楽器紹介では、僕自身、音楽の奥中先生とチューバの二重奏をして紹介しました。前日に、せっかくの機会だからということで出ることが決まり、必死に練習しました。そして本番では、緊張しながらも、なんとか無事演奏ができて、頑張ったかいがあったと思いました。しかも、「これは、山響がはじまって以来の先生と生徒の共演でした。」という司会者のコメントがありました。

また、生徒会長と英語の先生が指揮者になりかわって指揮棒をふるという企画もありました。にわか指揮に合わせて、山響のオーケストラが演奏するのですが、かたやネジがゆるみかけたオルゴール、かたや支離滅裂な演奏を生み出す指揮ぶりは、みんなを大爆笑させました。同時に指揮の難しさや、指揮者の重要さを知りました。そういった中でみんなもどんどん引き込まれていき、いつしか聞くことに熱中していました。

演奏全体でよかったと思ったことは、何といっても弦楽器の透明感を生で感じたことです。これは管楽器では真似できないなと思いました。それと日頃見ることのできない顧問の奥中先生が演奏している姿を見られたことです。こんな所に僕は目を向けていました。生徒の方は最初は多少ざわついていましたが、いつしか熱中して曲を聞いていました。普段、オーケストラの生の演奏をこんなに身近に聞く機会はめったにありません。しかも、学校の友達とみんなで聞くことができるは何より嬉しいことでしたし、これを機に音楽に関心をもってほしいと思いました。演奏は、アンコールの盛大な拍手に演奏で応えて下さり、幕を閉じました。

最後に、一つ気づいたことは、うちの吹奏楽部員が演奏の前や後に各楽器の演奏者に質問などをして、影ながらいいふれあいをしているなと思いました。そしてこれから他の所にあってもこういったふれあいをしてほしいと思いました。

## 『フルート・トリオ 演奏を聞いて』

岩国商業高等学校

2年2組42番 吉村多津子

私がまず目を見張られたのは、西田先生のチューニング（音合わせ）です。私は中学生のとき、吹奏楽でフルートを吹いていたのでよく分かりますが、このチューニングは非常に難しいです。それを先生は、いつも簡単にやってしまわれました。さすがだなと、演奏をまだ聞いてもいないのに思ってしまいました。

どんな音色が出てくるのか、次はこのことで頭がいっぱいでした。そして出てきた音は、なんともまるみのある、伸びやかなものでした。私もずっとフルートを吹き続けていたら、いつかはこんな音色が出せたんだろうなと思いました。だから自分もフルートを吹いているつもりで、ついつい力が入ってしまいました。

また、先生も最後におっしゃっておられましたが、演奏は、出始めから曲の終わりまで決して気が抜けません。他の人とのピッチ（音の高さ、低さなど）、リズム、バランスを常に考えておかなければならないからです。つまりとても集中力を必要とします。これは何にでも通用することなので、私ももっと集中力を身につけたいと思います。

先生方の演奏（特に曲の出始め）を見て、とても深い協調性を感じました。だからこそ演奏も、人一倍すばらしく聞こえたのだと思います。あの澄んだチェロの音、匠なピアノ演奏、心地よくまだ耳に残っています。このような経験をもつとしたいです。



劇団 のんた

## ザ・シェルターを見て

坂上高校1年1組 松本 真枝

ザ・シェルターを見て最初に思ったことは、核シェルターを必要とする時代になってはいけないなということでした。核ミサイルにも対応できるシェルター、食事も、温度や空気の調節、音楽までもすべてコンピューターまかせのシェルター。そんなところで生活していると、私だったら気が狂いそうです。カノのように、外に出たがると思います。私は核シェルターを作るよりも、核戦争が起こらないように努力すればいいと思いました。

原因不明の停電が起こりました。センジユーローの持っていたろうそくを囲んで、台風の話で盛り上りました。原因不明の停電のせいで、イライラしていたセンタもしだいに心がなごんでくる様でした。そうするうちに突然故障が回復するのです。それは、私にはあまりにもタイミングがよく感じました。その故障はセンタ一家に忘れていたことを思い出させたように感じたのです。そして、赤い赤い美しい夕焼けの中、赤とんぼをとりに出かけていくのです。

赤く美しい夕焼けを見たときのセンタ達の表情。だれでも、そういう表情をするんだと思っています。センタ達が、その夕焼けを知っていたなら核戦争に備えるためのシェルターなんて作らなかっただろうと思います。私は、夕焼けに限らず自然というものの美しさを忘れずにいたいです。

### ザ・シェルターを見て

坂上高校1年2組 平出 寛子

この間の湾岸戦争でのテレビの報道で、シェルターという言葉を聞くまで、私は、シェルターという言葉もそれが何なのかも知りませんでした。でも、私は実際にシェルターを目の前に見たわけでもないし、中に入つて生活したわけでもないので、この劇のように、シェルターの中で、家族がどんな話をするかなどということは、考えたこともありませんでした。

私が、この劇を見ながら思ったことは、自分が、本当に戦争が起こっている中で、シェルターの中になるとじこめられたら、どんなことをしたり、考えたりするかなあということです。たぶん、私はシェルターの隅の方で恐がって何もせずにじっとしていると思います。家族で、シェルターの中に入つていっても、この劇のように、家族でいろんな話はしないのではないかと思います。もし、話をしてもこれから、自分たちはどうなつてしまふのかとか、戦争はいつ終わるんだろうとかいう、とても暗い内容の話をするだろうと思います。

この劇では、シェルターの中といつても、本当に、外で戦争が起こっているわけではないので、台風の時のいろいろな話をして、家族で楽しく話していたけど、これが本当に、外で戦争をやっていたら、あんなに楽しそうに話をしないのではないかと思います。

でも、いくらシェルターの中で楽しい話をしても、危険におびえながら生活しなくてはいけないので、シェルターが使われるようなことがあってはいけないと思います。

### 「息子」を鑑賞して

宇部商業高等学校3年 三上さやか

普段、テレビドラマでしか「劇」というものに触れることがなかった私にとって、今回の生の舞台劇には、ある種の新鮮さを感じました。一つ一つ手描きされた舞台セットや、工夫され

尽くした小道具、そして独特の抑揚のついたセリフの言い回し……。

短かいセリフで構成された作品であるにもかかわらず、私がこの物語を理解でき、味わうことができたのは、演技をされた方々の表現豊かな話し方や、表情のせいに違いありません。私はいつの間にか舞台に引き込まれていきました。

この物語の中で、私が最も印象に残ったのは、金次郎の質問には答えず、ただただ息子を信じて疑わない父親の姿でした。どんなにののしられようと、怒鳴り散らされようと金次郎にとって、この父親の「信頼」ほど辛く、ありがたいものはなかつたのではないかと思います。

最後に金次郎が投げ捨てるようにつぶやいた「ちゃん……」というセリフ……。この一言は、父親の心に届いたのでしょうか。それが届くのが、「親子」という、すばらしく、そして不思議なつながりなのかもしれません。

深い感動とともに終わった40分でした。

### 『演奏会を聞いて』

岩国商業高等学校2年1組32番 小林 寛子

私は昨日初めて生で楽器の演奏を聞いた。

音というものは不思議な物で、その楽器の出している音は、まるで人の気持ちを表しているかのように感じる。

だから聞いただけで、「あつ、この曲は悲しいことを歌っている曲だ。」とか、「あつ、この曲はうれしいことを歌っているんだな。」と、分かることがある。

やっぱり、ブラウン管やスピーカーを通した音とは、全く違った音が味わえたのは、生まれて初めてなので大変感激した。音楽を聞くと、なぜか和やかな気持ちになり、大変落ち着かせてくれる。最近は、音楽と言ってもpopular musicぐらいしか聞かないで、「このようすばらしい音楽もあったんだなあ。」と、しみじみ思われます。

今回の演奏で一番感じたことは、音楽を通して、いろいろなことが学びとれたということが、一番うれしかったです。また、機会があれば聞きたいと思います。

岩国商業高等学校 2組32番 藤原 久子

私が演奏を見て、一番印象に残り、感動したのは、ピアノの演奏です。私はピアノを弾いてみたいと思うのですが、小さいころから、ピアノを習っているわけでもないのでうまく弾けません。だから、ピアノとは縁のない生活を送っているのです。そういう私が見たピアノの演奏は、すばらしい以上なのです。なぜあんなに手が速く動くのか、なぜ左右違った指の動きができるのか、それに足まで加わってすごいなアと思いました。

もちろん、フルートやチェロもすごくお上手で、自分もあんなに出来たらなアと何度も思つて聴いていました。

一つ一つの楽器の説明をされたときは、おもしろくて、楽器の以外な一面や、弾き方によつて違った音が出るのを知りました。

三つの楽器がそれぞれをひきたせているようで、よかったです。もちろん、生でこの演奏を聴けたからこんなに感動できたのだと思ひます。

## 平成3年度 全日本吹奏楽コンクール 「金賞」に輝く

全日本吹奏楽コンクールは、山口県大会のベスト4が中国大会に、中国21校のうちわずか3校が晴れの全国出場権を得るという、全国出場は実に100校に1つの狭き門となっている。

そして全国大会は全国9ブロックから27校が出席、中国代表の本校吹奏楽部は見事金賞に輝いて全国2,700高校吹奏楽の頂点に立った。

思えば、よきこの1年であった。3年生15名を核に、総勢43名が昨年のコンクール“全国落ち”に耐えて長い冬を越した。それは、200団体に1つという針の穴をくぐり抜けてアンサンブルコンテスト全国大会に出場した8名のメンバーなど、トッププレイヤーを抱える強力編成であった。春には、27名もの1年生を迎えて総勢70名を越えるビッグバンドに膨れ上がり、5月、全体を2つのバンドに分けて、本格的なコンクール練習を開始した。そして8月、山口県大会で、1年生バンドは、Cの部で最優秀の「コンクール特賞」を獲得、2・3年生中心のバンドは、これまた4年連続「大賞」を得て、県コンクール史上初の“ダブル大賞”に輝いたのである。

9月29日、中国大会当日は、広島市内の高校で早朝練習を行い、厚生年金会館の舞台を踏んだ。これで駄目なら「2度と全国の舞台は訪れない」というプレッシャーが重く肩にのしかかった。「再起なるか」と見守る超満員の会場に、祈るように振り降ろしたタクトの先から、さわやかな「そよ風のマーチ」(課題曲)が鳴り響いた。ミス1つ無い完璧な演奏に、改めて下高の底力を見た。それは長い間山口県、引いては中国のトップに立ち続けた歴史に支えられた力でもあった。こうして、下高吹奏楽部は最優秀成績を得て、再び全国に返り咲いたのである。

世の流れに伴い、近年、吹奏楽も専門化、多様化して様々な形のバンドが現れ、中でも技術

下松高等学校吹奏楽部  
顧問 中井 勝

強化、レベルアップのためには、なりふりかまわず学校部活動の枠を越えて活動する団体がいくつも見られるようになった。いわんや“全国バンド”の類は高校野球と同じく、多かれ少なかれ特殊な条件を備え持って、ゆるがぬ地位を保っているのである。このような中で、ただ真面目に練習してきただけの本校が、全国のトップバンドに仲間入りしたことは奇跡であるとさえいえる。

いや、50名もの集団の行為に奇跡やまぐれは無い。

先日、新聞記者の「金賞の秘訣を一言で」の質問に、探し得た言葉は「音楽への情熱」であった。我々の今日の栄光は、高い目標を掲げて、甘えや妥協を認めず、部訓「集中、追求、向上」を唱えてひたすら美しい音、正しい音楽を求めて、黙々と反復練習を繰り返してきたことによるものである。集団の上達には特効薬はない。若いうちは、「心」よりもむしろ「技」を求めて、コツコツ取り組むこと、ただそれだけである。青春は暗くてもよいではないか。それに耐えられるあふれんばかりのエネルギーを備えているのだから。

中国代表が決まると同時に東京での日程調整に入った。全国9ブロックの中で中国大会が最も遅く、55名もの交通や宿、練習場探しは困難を極めた。中高合わせて60団体もが東京に集結して同じことを考えんとするのだから、思うところはすでに押えられて、苦しい交渉となった。そんな中「窮すれば通ず」東京在住のO.B.、Y氏によって、早朝練習場を確保でき、本番間際の十分なウォーミングアップができたことに感謝している。

演奏後の記念撮影場は、中尾校長、浅原県吹奏楽連盟理事長、そして黒田育成会長と部員保護者約60名、O.B.を合わせて100名を越える上京

組に囲まれて、他校を圧倒する大変な賑わいとなつた。20数名の関係者とともにカメラに向かった初回を思い起こすと、この大応援団は、まさに金賞の“福の神”だったのである。

私達は多くの人に支えられて今日がある。70名もの部員が高額楽器を抱えて活動する吹奏楽部の運営には数多くの難問が立ちはだかった。ましてや全国出場には、音だけでなくそれを支える、これまた全国規模の基盤を要したことは言うまでもない。全国出場決定と同時に、同窓会による横断幕が掲げられ、PTA、同窓会、そして育成会組織による募金が始まり、また、部員保護者の熱意によって白のプレザーユニフォームが新調されるなど、関係方々による物心両面のご支援を得て、全国行きはこれまでにならない盛り上がりを見せた。

10月26日夕刻、東京普門館での全国大会審査発表の時がやってきた。

「プログラム12番、中国代表・山口県立下松高等学校……ゴールド金賞」、静まりかえった会場いっぱいに一際高く「金賞」の声が告げられるや、客席の本校集団席は、あふれる涙も惜しまず、抱き合い、手を握り合い、そして、ガッツポーズと万歳の声が乱舞して、まさに興奮のるっぽと化した。夢にまで見た最高位の賞「金賞」を確かにつかんだのだ。

7年ぶりに中国の地に金賞をもたらした我々の音楽へのひたむきな情熱が成した偉業は、必ずや多くの人々の心に光を与えて輝き続けてくれるものと思う。「ローマは1日にして成らず」を身をもって覚えた私たちだから、これからもおごることなく進み続けることだろう。

参考資料

第6回全国高等学校文芸コンクール都道府県別応募状況一覧

区分	学校数	小説	評論・研究	詩	短歌	俳句	文芸部誌	応募点数	
1 北海道	9	6		15	38	24	3	86	
2 青森	32	4		77(284)	137(1,408)	154(1,249)		372 (2,945)	
3 岩手	42	15(128)	2(10)	216(1,842)	129(1,224)	142(3,674)	6(7)	510 (6,885)	
4 宮城	1						1	1	
5 秋田	18	1(17)		11(86)	33(44)	33(41)	1	79 (189)	
6 山形	3	4		37	6		2	49	
7 福島	2	2		6	3		1	12	
8 茨城	10	1		9	25	48	4	87	
9 栃木	4	2		1			2	5	
10 群馬	9	1(3)		45(202)	10(44)	12(205)	3	71 (457)	
11 埼玉	8	9		20	33	3	2	67	
12 千葉	2			1			1	2	
13 東京	9	20		76	15	33	3	147	
14 神奈川	1						1	1	
15 山梨	10	4(37)		4(134)	10(148)	15(170)	1(3)	34 (492)	
16 新潟	8	7		13	65	33	3	121	
17 富山	5	8		2	3	3	2	18	
18 石川	3	3		5	23	112		143	
19 福井	8	2(24)		4(115)	6(120)	9(108)		21 (367)	
20 長野	☆		:						
21 岐阜	4	1		4			3	8	
22 静岡	4	1		1	3	6	3	14	
23 愛知	8	4		5	3		3	15	
24 三重	1	1						1	
25 滋賀	1						1	1	
26 京都	1	5			3		1	9	
27 大阪	5	2		17	3	12	3	37	
28 兵庫	4	3	1	11	3		2	20	
29 奈良	3	4		13				17	
30 和歌山	☆								
31 鳥取	☆								
32 島根	3	2		17			1	20	
33 岡山	☆								
34 広島	4	3	3	7	4	11	3	31	
35 山口	10	14		35(62)	1(37)	1	4	55 (118)	
36 徳島	2			2				2	
37 香川	4	4		3	18	21	1	47	
38 愛媛	4	1		20(302)			1	22 (304)	
39 高知	☆								
40 福岡	4	6		27	1	3	2	39	
41 佐賀	2			10	3			13	
42 長崎	4	4		24	6		1	35	
43 熊本	4	4		19	18		1	42	
44 大分	11	5(46)		14(178)	51(107)	33(89)		103 (420)	
45 宮崎	☆								
46 鹿児島	1	1		7	3			11	
47 沖縄	4	4		6	6	148(2,527)	1	165 (2,544)	
	合計	校 272	158(385)	6(14)	787(3,563)	662(3,417)	853(8,393)	67(70)	2,533 (15,842)

☆印 応募者無し

( )は県又は学校段階での応募数を含めた数

# 第六回全国高等学校 文芸コンクール

## 部門別応募状況一覧

区分	応募点数 点	応募者数 人	公私別		学年別			男女別	
			公	私	1	2	3	男	女
小説	158 (168)	158 (165)	142	16	31	69	58	44	114
文芸評論 文芸研究	6 (7)	6 (7)	5	1	0	2	* 1 3	4	* 1 1
詩	787 (726)	590 (463)	536	54	178	229	183	128	462
短歌	662 (546)	319 (241)	274	45	75	119	125	62	257
俳句	853 (607)	454 (352)	442	12	156	110	188	142	312
文芸部誌	67 (58)	* 合同 68 (58)	62	6					
合計	点 2,533 (2,112)	人 1,595 (1,286)	1,461	134	440	529	558	380	1,147

## 入賞作品数一覧

区分	応募点数	応募 数数	最優秀賞	優秀賞	優良賞	入選	合計
小説	158 総点数 385	158	◎ 1	7	7	8	23
文芸評論 文芸研究	6 総点数 14	6			1	2	3
詩	787 総点数 3,563	590	◎ 1	5	10	15	31
短歌	662 総点数 3,417	319	1	5	10	14	30
俳句	853 総点数 8,393	454	1	5	8	15	29
文芸部誌	67 総点数 70	68	◎ 1	4	5	7	17
合計	点 2,533 総点数 15,842	人 1,595	5	26	41	61	133

( )前回

◎印 文部大臣奨励賞

総点数は県又は学校段階での応募数を含めた数

- 第1回（昭和61年度）17都道府県 110校 890点 630人
- 第2回（昭和62年度）30都道府県 202校 1,977点 1,297人
- 第3回（昭和63年度）35都道府県 210校 1,830点 1,235人
- 第4回（平成元年度）39都道府県 235校 1,990点 1,347人
- 第5回（平成2年度）41都道府県 240校 2,112点 1,286人
- 第6回（平成3年度）41都道府県 272校 2,533点 1,595人 総点数 15,842点

## 文芸コンクール受賞作品（山口県）

小説部門	最優秀賞 (文部大臣奨励賞)	県立防府高等学校	3年 山科 静枝	『薄明の中で』
	優秀賞	県立防府高等学校	3年 神保 理恵	『百花の王』
	優良賞	県立防府高等学校	3年 高木 周子	『隙間風』
	入選	県立山口中央高等学校	3年 石田いづみ	『今日の出来事』
詩部門	最優秀賞 (文部大臣奨励賞)	県立下関工業高等学校	3年 津田 潮	『混沌』
	優秀賞	県立防府高等学校	3年 福嶋 祥子	『わたしたちは語ろうとしている』
	優良賞	県立防府高等学校	1年 森重 聰美	『約束』
		山口県桜ヶ丘高等学校	3年 富田 雅恵	『万国旗』

# 平成3年度 山口県高等学校文化連盟事業報告

月	日	事	業	会 場
4	4 16 23 26		県総文祭(総合開会式・音楽4部門)第1回準備委員会 会計監査 県総文祭(総合開会式・音楽4部門)第2回準備委員会 第1回高文連企画運営委員会	光 高 校 山 口 中 央 高 校 光 高 校 山 口 中 央 高 校
5	8 10 10 17 21 21 24~25	西田直孝フルートトリオ演奏会  巡回演劇 のんた	高文連評議員会 県総文祭(展示3部門)第1回運営委員会 県総文祭(日本音楽、吟詠詩舞)第1回準備委員会  県総文祭(総合開会式・音楽4部門)第1回実行委員会 全国高等学校文化連盟評議員会	岩国商業高校 宇部市 宇部工業高校 中村女子高校 徳山商業高校 光高校 東京都
6	3 7 10 13 14 15~16 20 23	山口県交響楽団演奏会  巡回演劇 のんた  県高校総合文化祭総合開会式 県高校総合文化祭(器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・パントワーリング) 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭(日本音楽、吟詠詩舞)	県総文祭(日本音楽、吟詠詩舞)第2回準備委員会  県総文祭(総合開会式・音楽4部門)第2回実行委員会	中村女子高校 萩原高校 坂上高校 光高校 光市民ホール  光市民ホール 田布施農業高校 中村女子高校
7	12 17 17 29	集録「高文連」第2号発行 全国高校文芸コンクール公募 器楽管弦楽指導者講習会	県総文祭(総合開会式・音楽4部門)第3回実行委員会	光高校  下関南高校
8	1~4 2 2~4 17~19 24~26	全国高校総合文化祭  県高校総合文化祭(美術・工芸、書道、写真) 書道部門研修会	全国高等学校文化連盟拡大理事会 全国高等学校文化連盟各専門部会	香川県(高松市中心) 高 松 市 香川県(高松市中心) 宇都市文化会館 山 口 市 民 会 館
9	13		県総文祭(演劇)第1回実行委員会	岩陽高校
10	2 3 8 9 14 16 16 17 17 26 27 27 30	マリンバ演奏会 (文化部門)部・クラブ等の調査 山口県交響楽団演奏会 巡回演劇 宇部芸術座 マリンバ演奏会 マリンバ演奏会 マリンバ演奏会 マリンバ演奏会 巡回演劇 宇部芸術座 マーチングバンド部門研修会 県高校総合文化祭(団体) 写真部門研修会 山口県交響楽団演奏会	県総文祭(団体)第1回実行委員会	盲学校  豊北高校 山 口 農 業 高 校 岩国養護学校 鹿野高校 徳山高校 防府養護学校 宇部商業高校 徳地町民体育館 徳山高校 柳井高校 久賀高校
11	1~2 11 13	県高校総合文化祭テーマ(演劇)  県高校総合文化祭テーマ公募 パントワーリング部門研修会	第1回高文連理事長会	岩国市民会館 山 口 中 央 高 校  サンライフ宇部
12	13 13 17	平成3年度「高文連会報」発行 東京公演スター公募 全国高校文芸コンクール表彰		東京都 青山会館
1	10 19 23~24	全国高校文化連盟団体大会	第2回高文連理事長会 全国高等学校文化連盟研究大会	山 口 中 央 高 校 東京都 駒場高校 盛岡市
2	7 14 21 25		全国高等学校文化連盟理事会 中国地区高文連関係者(会長・事務局長・行政)合同会議 第2回高文連企画運営委員会 国際交流(高校生吹奏楽団山東省派遣)第1回準備委員会	東京都 青山会館 広島市せとうち苑 山 口 中 央 高 校 防 府 高 校
3	6 15 16 24 26 27	パントワーリング部門研修会  演劇部門研修会 合唱部門研修会 第11回器楽管弦楽スプリングコンサート	国際交流(高校生吹奏楽団山東省派遣)第2回準備委員会 国際交流(高校生吹奏楽団山東省派遣)第1回実行委員会	防府高校 サンライフ宇部 山 口 中 央 高 校 下関商業高校 宇 部 市 下 関 文 化 会 館

# 平成4年度 山口県高等学校文化連盟事業計画

月	日	事業	会場
4	10 24	会計監査 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	7 8 (中旬) 28 (下旬)	県総文祭(総合開会式・音楽4部門)第1回実行委員会 高文連評議員会 平成3年度「高文連」発行 山口県交響楽団演奏会 全国高等学校文化連盟評議員会	徳山高校 防府市 西京高校 東京都
6	15 16 19 20~21 28	山口県交響楽団演奏会 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭総合開会式 県高校総合文化祭(器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド、バトントワーリング) 県高校総合文化祭(日本音楽、吟詠劍詩舞)	徳山北高校 安下庄高校 徳山市文化会館 徳山市文化会館 萩市民会館
7	(上旬)	全国高校文芸コンクール公募	
8	3~7 3 3~7 18~24	全国高校総合文化祭 全国高等学校文化連盟拡大理事会 全国高等学校文化連盟各専門部会 [山口県山東省友好協定締結10周年記念事業] 山口県高等学校吹奏楽団訪中	沖縄県(那覇市中心) 沖縄県那覇市 沖縄県(那覇市中心) 中国(济南市 蔡安市 北京)
10	9 13 25	マリンバ演奏会 マリンバ演奏会 マリンバ演奏会 県高校総合文化祭(囲碁)	大嶺高校 下関女短付属高校 徳山高校(定) 下関西高校
11	31~1 (上旬) (上旬) 4 7 12 13~15 18 21	県高校総合文化祭(演劇) 県高校総合文化祭テーマ公募 巡回演劇 海峡座 巡回演劇 のんた 巡回演劇 のんた 県高校総合文化祭 (美術工芸、書道、写真) 山口県交響楽団演奏会 巡回演劇 海峡座	下関文化会館 山口中央高校 小野田工業高校 徳山工業高校 柳井工業高校 ときわ湖水ホール 美祢高校 萩工業高校
12	(中旬)	平成4年度「高文連会報」発行	
1	(中旬) (中旬) (下旬)	第2回高文連理事長会 全国高等学校文化連盟囲碁大会	山口中央高校 長崎市
2	(上旬) (中旬) (中旬)	全国高等学校文化連盟理事会 中国地区高文連関係者(会長・事務局長・行政)合同会議 第2回高文連企画運営委員会	東京都青山会館 岡山市 山口中央高校
3	25	第12回器楽管弦楽スプリングコンサート	山口市民会館
<p>【その他】 県高校総合文化祭準備委員会          展示関係3部門          日本音楽、吟詠剣詩舞部門 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> .....主管校において1~2回開催予定          演劇部門          囲碁部門 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span></p> <p>各専門部会 .....部会長校を中心を開催予定          各専門部研修会 .....県下各地において開催予定          山東省派遣山口県高等学校吹奏楽合同練習会・結団式</p>			

## 平成3年度 全国高等学校文化連盟基本調査

平成3年11月調査

都道府県別団体名称	設立年月日	校数		内訳(1人当たり)単位:円					
		全学校数	加盟校数	全日制	定時制	盲聾養	教職員	入会金	備考
1 北海道高等学校文化連盟	S 31.11.22	350	320	100	10	20	0	0	
2 青森県高等学校文化連盟	S 54. 4.25	102	83	150	50	50	0	0	
3 岩手県高等学校文化連盟	S 56. 7.14	99	99	350	50	50	350	0	
4 宮城県高等学校文化連盟	H 1.11.29	120	98	0	0	0	0	0	一校 3,000円
5 秋田県高等学校文化連盟	S 58. 6. 1	68	68	100	50	50	0	全 200 定 100	
6 山形県高等学校文化連盟	S 52.10. 6	83	73	150	80	80	0	0	
7 福島県高等学校文化連盟	S 62. 6.17	116	116	150	80	80	0	全 150 定 80	
8 茨城県高等学校文化連盟	S 62. 6.19	150	136	0	0	0	0	0	学校単位 5,000円
9 栃木県高等学校文化連盟	S 53.10. 2	87	84	200	100	100	200	0	
10 群馬県高等学校文化連盟	S 61. 7. 4	96	87	0	0	0	0	0	全日制のみ、在籍生徒数で 6段階5,000~50,000円
11 埼玉県高等学校文化連盟	S 58.11.16	241	189	0	0	0	0	0	一校 50,000円 一クラブ 8,000円
12 千葉県高等学校文化連盟	S 63.11. 5	238	168	50	0	0	0	0	加盟校在籍生徒数×50円 加盟専門部数×2,000円
13 東京都高等学校文化連盟	S 53. 4. 1	528	343	0	0	0	0	0	一校3,000円で専門部加盟 各専門部より60,000円徴収
14 神奈川県高等学校文化連盟	H 1. 6. 2	290	121	100	0	0	0	0	定通・盲聾養は1校 3,000円
15 山梨県高等学校文化連盟	S 56. 6.26	53	50	300	100	50	0	0	通信は一括 500円
16 新潟県高等学校文化連盟	S 61.11.12	129	99	0	0	0	0	0	学校規模別6ランク12万~ 2万+専門部所属加盟費1 人20円、但し、定通は半額
17 富山県高等学校文化連盟	H 1. 8.11	62	62	100	1校 2,000	1校 1,000	0	0	
18 石川県高等学校文化連盟	S 26. 4. 1	76	65	150	一括 10,000	0	0	0	
19 福井県高等学校文化連盟	S 45. 5.11	45	38	100	50	100	0	0	
20 長野県高等学校文化連盟	H 3. 7.29	131	98	30	0	0	0	0	別に一部単位 1,000~6,500円
21 岐阜県高等学校文化連盟	S 54. 6.30	105	105	100	0	0	0	0	事業への参加費徴収 1,500~5,000円
22 静岡県高等学校文化連盟	S 63. 4. 1	162	155	100	100	50	0	0	
23 愛知県高等学校文化連盟	S 60.12.25	284	183	80	0	0	0	0	

会費の値上げ			会費総額 (単位:千円)	内訳(単位:千円)				県高総文祭事業費 (単位:千円)	内訳(単位:千円)		
三年度	四年度	備考		県高総文祭	全国高総文祭派遣	運営費等	その他		県高文連	県費	その他
同	同		23,393	1,345	1,345			16,486	8,300	1,345	6,841
同	同		9,763	4,623	3,400	848	175	200	5,836	2,436	3,400
同	同		23,074	13,203	1,000	12,203			6,050	5,050	1,000
同	値上げ	1万	980	3,000	2,200	800			3,048	848	2,200
同	同		8,164	2,197		720		1,477	3,377	3,377	
同	同		7,722	4,373	1,920	953	1,500		2,620	700	1,920
同	同		18,199	3,500					6,500		
同	検討中		680	8,674	3,545	5,129			4,020		3,545
同	同		20,012	3,000			3,000				
同	同		3,100	1,310		1,060	250				
同	同		17,426	18,941	4,968	13,204	769		11,632	6,664	4,968
同	同		11,282	12,483	4,695	4,483	研修会等 283	県外派遣 507	9,389	4,695	4,694
同	同		480	16,646	15,012	1,035		599	15,012		15,012
同	同		12,952	10,800	6,600	4,200			7,550	950	6,600
同	同		10,950	7,000	4,000	3,000			7,360	3,360	4,000
同	検討中		6,500	4,000					1,200		
同	同		5,033	7,700	300	2,700	4,000	700	1,570	1,270	300
同	同		7,939	3,049	2,500	549			6,000	3,500	2,500
同	値上げ		3,505	56			56		1,334	1,334	
同	検討中	審議中	4,400	2,330	芸術フェスティバル 669	500		県外派遣 1,160			
同	同		12,278	2,336	1,597	309	430		6,410	3,170	1,597
同	同		16,277	15,800	3,300	2,500	10,000		11,300	2,000	3,300
同	値上げ	80円 100円	17,824	6,000				11,340	11,340		6,000

都道府県別団体名称		設立年月日	校数		内訳(1人当たり)単位:円					
			全学校数	加盟校数	全日制	定通制	盲聾養	教職員	入会金	備考
24	三重県高等学校芸術文化連盟	S61.10.1	88	59	0	0	0	0	0	一クラブ 一校 2,000円 200円
25	滋賀県高等学校文化連盟	H3.2.19	61	61	0	0	0	0	0	全日制一校 5,000円 定・障一校 2,000円
26	京都府高等学校芸術文化連盟	S63.3.7	107	83	0	0	0	0	0	一校 10,000円 部単位 1,000円
27	大阪府高等学校芸術文化連盟	S61.4.1	315	315	0	0	0	0	0	全日制一校10,000円
28	兵庫県高等学校文化連盟	S55.4.1	258	120	0	0	0	0	0	学校規模別 5,000~ 17,000円 5段階 定・通・障 5,000円
29	奈良県高等学校文化連盟	S61.5.20	71	71	100	20	0	0	0	
30	和歌山県高等学校文化連盟	S57.6.1	59	51	100	50	50	0	0	
31	鳥取県高等学校文化連盟	S61.11.18	36	36	150	80	0	0	0	
32	島根県高等学校文化連盟	S26.7.20	64	50	250	110	110	250	0	
33	岡山県高等学校文化連盟	S62.4.25	116	90	100	(20)	(20)	0	0	( )当分徴収しない
34	広島県高等学校芸術文化連盟	S60.7.13	155	130	0	0	0	0	0	500人以上20,000円 500人未満10,000円 盲聾・養3,000円
35	山口県高等学校文化連盟	S62.4.1	95	93	1年200 2・3年 100	50	50	0	0	別に学校負担金 学級数×100円
36	徳島県高等学校文化連盟	S56.4.1	49	47	80	30	30	80	0	
37	香川県高等学校文化連盟	S59.4.12	52	48	200	0	30	100	800	入会金 元~3年のみ徴収
38	愛媛県高等学校文化連盟	S62.4.22	75	72	100	50	50	100	0	
39	高知県高等学校芸術団体協議会	S53.4.30	53	35						
40	福岡県高等学校芸術文化連盟	S61.9.24	207	175	200	100	100	0	0	
41	佐賀県高等学校文化連盟	H1.5.29	52	41	3段階 60~ 170	60	60	0	0	通信制一校 8,000円
42	長崎県高等学校文化連盟	H1.4.19	90	90	100	(定) 50	50	0	0	
43	熊本県高等学校文化連盟	S56.6.5	100	85	200	(定) 50	50			通信制一校 3,000円
44	大分県高等学校文化連盟	S26.6.30	77	77	450	200	200	0	0	
45	宮崎県高等学校文化連盟	S54.7.18	62	57	400	200	200	0	0	
46	鹿児島県高等学校文化連盟	H2.2.11	107	85	200	50	50	0	0	
47	沖縄県高等学校文化連盟	S54.5.15	78	66	300	150	150	0	0	

会費の値上げ			会費総額 (単位:千円)	内訳(単位:千円)				県高総文祭事業費 (単位:千円)	内訳(単位:千円)		
三年度	四年度	備考		県高総文祭	全国高総文祭派遣	運営費等	その他		県高文連	県費	その他
同	値上げ	予定	1,720	8,292	1,930	3,754		近畿総文2,707	2,180	250	1,930
同	同		272	5,960	3,270	1,789	160	近畿総文741	3,362	92	3,270
同	同		1,163	7,242	6,070	350	94	728	6,070		6,070
同	同		2,750	4,300		,			3,300		
同	同		1,571	9,049	6,500	1,479		近畿高総文1,070	663	13	650
同	同		5,638	8,600	4,600	1,700	500	近畿高総文1,800	4,600		4,600
同	同		4,546	4,281	1,801	2,210	270		4,800	3,000	1,801
同	同		4,003	3,220	800	2,000		県外派遣420	189	109	80
同	同		8,475	2,150		,550	1,600				
同	値上げ	100円 200円	9,028	8,924	1,300	1,150	6,474		4,051	2,751	1,300
同	値上げ	1人当 150円	2,335	4,000	全国派遣含 4,000				7,200	2,335	4,000
同	値上げ	2年生 100円 200円	9,270	5,900	2,200	3,700			5,200	3,000	2,200
同	値上げ	80円 160円	2,765	800	800				940	140	800
同	同		20,551	全国大会開催のため全国高総文祭 実行委に委託				全国大会後のため3専門部のみ実施			
同	値上げ	未定	7,286	8,425	6,365	2,060			130	130	
				1,400	1,400		200		3,905	1,400	2,505
同	同		38,140	3,000					12,000		
			2,700						2,343		
同	値上げ	100円 200円	7,265	7,242	3,060	2,040		2,142	7,761	2,814	3,060
同	値上げ	200円 300円	14,750	20,124	5,000	6,812		1,500	10,706	5,706	5,000
同	同		25,207	2,000	1,000	1,000			3,400	2,400	1,000
同	同		20,150	3,300		3,300			9,710	6,400	3,300
同	同		12,928	3,000	1,485	825		巡回交流 690	2,970	1,485	1,485
同	値上げ	300円 500円	18,525	82,901	26,436	11,436		県外派遣各種大会 45,029	リハーサル大会 29,136	2,700	26,436

## 全国高文連専門部の各都道府県所属一覧

平成3年調査

都道府県別団体名称	所 属 専 門 部																					
	演 剧	合 唱	吹 奏	器 楽	日本 音 楽	吟 詠	劍 詩	舞	郷 士	芸 能	バ ー	チ ン	ト ワ	リ ン グ	美 術	書 道	写 真	放 送	囲 暮	将 棋	弁 棋	小 倉 白 人 一 首
	劇	唱	樂	管弦樂																		
北海道高等学校文化連盟	○	○	○												○	○	○	○			○	
青森県高等学校文化連盟	○	○	○												○	○	○	○	○	○	○	
岩手県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(○)					○	○	○	○	○	○	○	
宮城県高等学校文化連盟	○	○	○	○											○	○		○	○	○	○	
秋田県高等学校文化連盟	○	○	○						○						○	○	○	○	○	○	○	
山形県高等学校文化連盟	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○	○	
福島県高等学校文化連盟	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○	○	
茨城県高等学校文化連盟	○	○									(○)				○	○	○	○	○	○	○	
栃木県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	
群馬県高等学校文化連盟	○	○	○												○	○	○	○	○	○	○	
埼玉県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
千葉県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	
東京都高等学校文化連盟	○	○													○	○	○	○	○	○	○	
神奈川県高等学校文化連盟	○	○													○	○	○	○	○	○	○	
山梨県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
新潟県高等学校文化連盟	○	○	○												○	○	○	○	○	○	○	
富山県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
石川県高等学校文化連盟	○	○	○					○			(○)				○			○	○		○	
福井県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
長野県高等学校芸術文化協議会	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
岐阜県高等学校文化連盟	○	○	○				○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
静岡県高等学校文化連盟	○	○	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○	
愛知県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(○)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三重県高等学校芸術文化連盟	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
滋賀県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
京都府高等学校芸術文化連盟	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大阪府高等学校芸術文化連盟	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
兵庫県高等学校文化連盟	○	○	○				○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
奈良県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
和歌山県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	
鳥取県高等学校文化連盟		○				(○)					(○)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
島根県高等学校文化連盟	○	○				(○)						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
岡山県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
広島県高等学校芸術文化連盟	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
山口県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
徳島県高等学校文化連盟	○	○	○												○	○	○	○	○	○	○	
香川県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
愛媛県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高知県高等学校芸術文化連盟	○	○	○												○	○	○	○	○	○	○	
福岡県高等学校芸術・文化連盟	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○	○	
佐賀県高等学校文化連盟	○	○	○												○	○	○	○	○	○	○	
長崎県高等学校文化連盟	○		○												○	○	○	○	○	○	○	
熊本県高等学校文化連盟	○	○	○					○	○						○	○	○	○	○	○	○	
大分県高等学校文化連盟	○	○	○	(○)	○	○	(○)	(○)	○	○					○	○	○	○	○	○	○	
宮崎県高等学校文化連盟	○	○	○												○	○	○	○	○	○	○	
鹿児島県高等学校文化連盟	○		○												○	○						
沖縄県高等学校文化連盟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
合 計	47	47	47	31	30	18	13	24	47	47	47	39	38	28	19	7	4					

## 第16回全国高等学校総合文化祭開催要綱

### 1. 趣 旨

全国都道府県及び政令指定都市代表の高等学校生徒による芸術文化活動の発表を総合的に開催し、創造活動の向上を図るとともに、相互の交流を深めることにより、芸術文化の振興に資する。

### 2. 主 催・後援・協賛

- (1) 主催／文化庁、全国高等学校文化連盟、沖縄県、沖縄県教育委員会、那覇市、那覇市教育委員会、浦添市、浦添市教育委員会、宜野湾市、宜野湾市教育委員会、沖縄市、沖縄市教育委員会、沖縄県高等学校文化連盟
- (2) 後援／都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会、沖縄県高等学校長協会
- (3) 協賛／全日本合唱連盟、全日本吹奏楽連盟、日本三曲協会、全日本アマチュア演劇協議会、全日本マーチングバンド・バトントワーリング連盟、(財)日本吟剣詩舞振興会、全日本書写道教育研究会、全国高等学校視聴覚教育研究協議会、日本放送協会、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、共同通信社、時事通信社、沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK沖縄放送局、琉球放送、沖縄テレビ放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、沖縄県商工会議所連合会、沖縄電力、日本航空、全日本空輸、南西航空、日本エアシステム エアーニッポン、沖縄県バス協会、沖縄県観光連盟、全国高等学校P.T.A連合会、沖縄県高等学校P.T.A連合会

### 3. 期 間／平成4年8月3日(月)～8月7日(金)の5日間

### 4. 開会行事／(1) パ レ ー ド……………那覇市国際通り

(2) 総合開会式……………沖縄コンベンションセンター

### 5. 開催種目及び会場／

- |                             |                      |
|-----------------------------|----------------------|
| (1) マーチングバンド……沖縄コンベンションセンター | (8) 郷 土 芸 能……宜野湾市民会館 |
| (2) 吹 奏 楽……那覇市民会館           | (9) 美 術・工 芸……那覇市民体育館 |
| (3) 合 唱……那覇市民会館             | (10) 書 道……浦添市民体育館    |
| (4) 器 楽・管 弦 楽……沖縄市民会館       | (11) 写 真……浦添市民体育館    |
| (5) 日 本 音 楽……沖縄市民会館         | (12) 放 送 文 化……浦添市民会館 |
| (6) 吟 詠 剣 詩 舞……宜野湾市民会館      | (13) 弁 論……浦添市民会館     |
| (7) 演 剧……沖縄コンベンションセンター      |                      |

### 6. 内 容／

- (1) パレード、総合開会式
- (2) マーチングバンド・バトントワーリング…各都道府県及び政令指定都市教育委員会から推薦された優秀校による演奏及び演技発表  
吹奏楽、合唱  
器楽・管弦楽  
日本音楽、吟詠剣詩舞  
郷土芸能
- (3) 演 剧……………プロック代表による演劇上演、講習、研究協議
- (4) 美術・工芸、書道、写真……………各都道府県教育委員会から推薦された優秀作品の展示
- (5) 放送文化……………各都道府県及び政令指定都市教育委員会から推薦された優秀校による演技発表及び優秀作品の映写
- (6) 弁 論……………各都道府県及び政令指定都市教育委員会から推薦された優秀弁士による発表

### 7. 協賛部門／沖縄県高等学校文化連盟から次の種目を発表する。

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| (1) 文 芸……沖縄コンベンションセンター | (5) 商 業……宜野湾市立体育館         |
| (2) 科 学……宜野湾市立体育館      | (6) 水 産……宜野湾市立体育館         |
| (3) 農 業……宜野湾市立体育館      | (7) 家 庭……宜野湾市立体育館         |
| (4) 工 業……宜野湾市立体育館      | (8) 茶・華道……沖縄コンベンションセンター・他 |

### 8. 實施組織／行政機関、教育機関、関係団体からなる実行委員会を設置し、この事務局を沖縄県教育庁高等学校教育課に置く。

### 9. 経 費／全国高等学校総合文化祭の開催に要する経費は、文化庁、全国高等学校文化連盟、沖縄県、沖縄県高等学校文化連盟等が負担する。

# 平成3年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書

(収入総額) (支出総額) (差引残高)  
 16,866,417 - 15,460,221 = 1,406,196

## [収入の部]

区分	予算額	決算額	増減(△減)	摘要
繰越金	950,431	950,431	0	
会費	9,270,000	9,124,550	△ 145,450	全日制(1年) 200円 (2,3年) 100円 定時制 50円 盲・聾・養 50円
学校分担金	164,000	168,400	4,400	1,684学級×100円
補助金	5,900,000 (内訳) 2,200,000 3,700,000	6,065,600 (内訳) 2,200,000 3,787,000 78,600	165,600	県総文補助金 全総文補助金 全国高文連
平衡資金から	500,000	500,000	0	
雑収入	10,000	57,436	47,436	利息等
合計	16,794,431	16,866,417	71,986	

## [支出の部]

区分	予算額	決算額	増減(△減)	摘要
[運営費] 事務用品費 通信費 分担金	750,000 (内訳) 250,000 331,182 168,818	779,303 (内訳) 304,456 305,629 169,218	△ 29,303	事務用品、写真、事務機器等 電話、郵便、運送等 全国高文連分担金
[会議費]	1,580,000 (内訳) 400,000 380,000 800,000	1,368,729 (内訳) 299,621 175,736 778,152 104,580 8,700 1,940	211,271	企画運営、専門部理事長会議 全総文各部門理事会 事務局旅費 研究大会 監査旅費 その他
[事業費] 県総文 全総文  自主事業 専門部会費 印刷費	14,360,000 (内訳) 5,200,000 4,370,000  1,980,000 1,310,000 1,500,000	13,248,617 (内訳) 5,261,219 3,362,050 457,320 122,620  1,958,466 722,472 1,364,470	1,111,383	総合開会式、各部門総文祭関係 生徒旅費、参加料 引率教員旅費 (文芸表彰)生徒旅費 県交響楽団演奏会等の13公演 各部会通信費、研修費 高文連会報、集録、ポスター、賞状
[予備費]	104,431	63,572	40,859	
合計	16,794,431	15,460,221	1,334,210	

上記の通り相違ありません。

平成4年4月10日

監事 浦川幸弘

監事 伊藤彰

# 平成4年度 山口県高等学校文化連盟会計予算書

## [収入の部]

区分	予算額	前年度予算額	増減(△減)	摘要
繰越金	1,406,196	950,431	455,765	
会費	10,921,000	9,270,000	1,651,000	全日制(1,2年) 200円×42,855 (3年) 100円×22,950 定時制 50円 盲・聾・養 50円] ×1,100
学校分担金	163,000	164,000	△ 1,000	1,630学級×100円
補助金	10,260,000 (内訳) 2,200,000 7,990,000 70,000	5,900,000 (内訳) 2,200,000 3,700,000	4,360,000	県総文祭補助金(県より) 全総文祭補助金(県より) (全国高文連より)
平衡資金から	0	500,000	△ 500,000	
雑収入	10,000	10,000	0	利息
合計	22,760,196	16,794,431	5,965,765	

## [支出の部]

区分	予算額	前年度予算額	増減(△減)	摘要
[運営費] 事務用品費 通信費 分担金	800,000 300,000 330,000 170,000	750,000 (内訳) 250,000 331,182 168,118	50,000	事務用品、写真、事務機器修理代 電話、郵便、運送料等 全国高文連分担金
[会議費]	1,738,000 (内訳) 380,000 429,000 850,000 9,000 70,000	1,580,000 (内訳) 400,000 380,000 800,000	158,000	企画運営委員会、専門部理事長会 全総文各部門理事会 事務局旅費 監査旅費 研究大会旅費、参加料
[事業費] 県総文祭 全総文祭 自主事業 国際交流  大会補助金 専門部会費 印刷費	20,022,900 (内訳) 5,782,500 8,950,000 1,730,400 600,000  100,000 1,860,000 1,000,000	14,360,000 (内訳) 5,200,000 4,370,000 1,980,000  1,310,000 1,500,000	5,662,900	総合開会式、各部門総文祭関係(別紙) 生徒旅費799万円 引率教員旅費96万円 演奏会・演劇 12公演(別紙) (山東省へ吹奏楽団派遣)合同練習会等 の施設使用、教員旅費、楽器運送料、 演奏会プログラム印刷等 中国大会(演劇部門)補助金 研修費170万円、通信費16万円 高文連集録、高文連会報、県総文祭ポスター、賞状
[予備費]	199,296	104,431	94,865	
合計	22,760,196	16,794,431	5,965,765	

# 山口県高等学校文化連盟規約

## 第1章 総 則

### (名称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

### (事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市中園町2番8号山口中央高等学校に置く。

### (目的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

### (事業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校等による文化行事の開催に関する事業
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、観賞会、講演会等の開催に関する事業
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業

### (組織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校並びに高等部を設置している盲学校、ろう学校及び養護学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、部門別の専門部を置く。

2 専門部は、当分の間、演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワーリング、日本音楽、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁等の各部門とする。

## 第2章 役 員

### (役員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- |                         |                |
|-------------------------|----------------|
| (1) 会長 1人               | (4) 支部長 7人     |
| (2) 副会長 若干人             | (5) 専門部会長 11人  |
| (3) 評議員 94人以上           | (6) 専門部理事長 11人 |
| (会長及び副会長を含む。) (7) 監事 2人 |                |

### (役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事は、評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

### (役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校等に在職する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。  
2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

第3章 会議

(会議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じて、これを招集する。

- (1) 評議員会 (3) 理事長会
- (2) 企画運営委員会
- 2 会議の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。
- 5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項 (3) その他連盟の運営に係る重要事項
- (2) 予算及び決算に関する事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項 (3) その他連盟の運営に係る軽易な事項
- (2) 会務の運営及び執行に関する事項
- 2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。
- 3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。
- 4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項 (2) その他各専門部の運営に係わる事項
- 計

第4章 会計

(経費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の分担金、県内の高等学校等の生徒の会費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続については、企画運営委員会の議決を経て別に定める。

第5章 事務局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第6章 雜則

第21条 この連盟の規約の施工について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附則

この規約は、平成元年4月1日から施行する。

## 平成3年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職名	氏名	支部・部門	所屬校
会副会長	繁竹小津	健陸正正	山口中央高校 岩国高校 下関高校 中村女子高校
支部長	富林田田	治夫弘人	高柳徳山
"	竹藤新繁	夫慎雄	高柳徳山
"	山三松	治悟寛	高柳徳山
"	林本庄	夫慎雄	高柳徳山
"	浦木	寛讓郎	高柳徳山
"	戸浦村	成人雄	高柳徳山
"	多	克郎	高柳徳山
"	河谷	慎雄	高柳徳山
"	田野中	俊信正武	厚狭南中央高校
"	河本庄	正武	下宇部女子高校
"	下古津	俊	防宇部女子高校
"	京田下	信	中村工高
"	藤新	正	下山防柳德
専門部会長	三三宇下	生寛讓郎	厚狭南中央高校
"	多	成人雄	下宇部女子高校
"	多	克郎	防宇部女子高校
"	多	慎雄	中村工高
"	多	俊	下山防柳德
"	多	信	井山
"	多	正	井山
"	多	武	井山
"	多	俊	井山
"	多	正	井山
"	多	武	井山
"	多	俊	井山
"	多	正	井山
"	多	武	井山
"	多	俊	井山
"	多	正	井山
"	多	武	井山
"	多	俊	井山
専門部理事長	三松中重花中中師荒藤川	眞忠綾昭慈靖雅俊	厚下宇部女子高校
"	藤永尾広村野野井瀬川崎	眞子雄照子行夫宏徳門	防宇部女子高校
"	藤永尾広村野野井瀬川崎	眞子雄照子行夫宏徳門	商業高校
"	藤永尾広村野野井瀬川崎	眞子雄照子行夫宏徳門	宇部商業高校
"	藤永尾広村野野井瀬川崎	眞子雄照子行夫宏徳門	防府商業高校
監事	伊浦	藤川	中央高校
"	伊浦	藤川	中央高校
事務局長	斎甲中古	藤田邑屋	中央高校
事務務務	斎甲中古	久夫夫子	中央高校
庶会	斎甲中古	立元	中央高校

平成4年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

## 全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定  
向川栄美作詞  
乗松美紀作曲



1.てをのばせばほら きっとだれかがさされてくれる  
2.よびかければほら きっとだれかがこたえてくれる



みーわたせ一ぱば ほらなかまがいつでもそばにいる きみ  
こころをひらけぱ ほらなかまはいつでもまっている きみ



ははひとりじゃない さあある きだそこう  
ひとりじゃない さあは きばたう



ぼくらのぶんかを つきづるくため一に  
ぼくらのぶんかを つきづるくため一に

一、手を伸ばせばほら

きっと誰かが支えてくれる  
見渡せばほら

仲間がいつでもそばにいる  
君は一人じゃない

さあ歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければほら

きっと誰かが応えてくれる

心を開けばほら

仲間はいつでも待つている

君は一人じゃない  
さあ翔こう

僕等の文化を築くために

## 全国高文連の歌

## 編集後記

“ひびけ 青春のこえ かがやけ 文化のひかり”をテーマに、平成3年度山口県高等学校総合文化祭の総合開会式が、光高等学校を主管校として本年度から独立した日程で行われたことは、山口県高等学校文化連盟にとって記念すべきことでした。今も記憶に新しいところです。

集録「高文連」は、3号を発刊することになりました。高文連の事業も年毎に拡大充実し、それに伴って集録の内容も増えてきています。今回は各専門部の記録の記事をわかりやすくするために、各部門、県高総文祭、全国高総文化祭に分けて編集しました。

執筆いただいた専門部理事長をはじめ、各種事業に係わった多くの先生方、そして生徒諸君に、心から厚くお礼申しあげます。

今後は、活動報告、参加報告等で、紙面を豊かに見易いものにしたいと考えております。一層のご協力をお願いします。

### 山口県高等学校文化連盟集録「高文連」編集委員

合 唱	中 尾 綾 子 (県立宇部中央高等学校)
マーチングバンド・ バトン・トワーリング	花 村 慈 照 (宇部女子高等学校)
器楽・管弦楽	松 永 忠 雄 (県立下関南高等学校)
吹 奏 楽	重 広 昭 雄 (県立防府高等学校)
演 劇	三 藤 真 人 (県立厚狭高等学校)
日本音楽	中 野 靖 子 (中村女子高等学校)
吟詠・剣詩舞	中 野 雅 行 (県立下関工業高等学校)
美術・工芸	師 井 俊 夫 (県立山口高等学校)
書 道	荒 瀬 宏 (県立防府高等学校)
写 真	藤 川 明 徳 (県立柳井高等学校)
囲碁	伊 藤 秀 男 (県立下関西高等学校)
(事務局)	
事務局長	斎 藤 真 久 (県立山口中央高等学校)
総務	甲 田 俊 夫 ( " )
庶務	中 邑 立 夫 ( " )
会計	古 屋 元 子 ( " )

平成3年度  
山口県高等学校文化連盟集録  
「高文連」

編集・発行 山口県高等学校文化連盟事務局  
⑦753 山口市中園町2-8  
山口県立山口中央高等学校内  
電話0839-32-0818  
印 刷 A&C-CREATE co.,ltd.  
⑦753 山口市中園町1-3-106 電話0839-25-0757

